

H I R A K U

拓く

令和7年度広報誌

vol.42



九州栄養福祉大学大学院
九州栄養福祉大学
東筑紫短期大学

東筑紫学園 建学の精神

筑紫の心

勇気・親和・愛・知性

教育とは心の畑を耕すことあります。
とすれば草を生茂き狭隘して瘦せ
細くは心の草をむり肥料をつかい
新生する芽を伸ばしていつに教育の
使命があります。

東筑紫学園の建学の精神は教職員
学生生徒が心と心をついて勇気親和
愛知性の四つの芽を心の畑に種蒔き育て
いくことあります。

筑紫の心は国を愛し労働をいとわず親や
祖先とあがめ己れをむなしくして社会奉仕
する人間像を理想にしています。

学園長 宇城信五郎

東筑紫学園沿革

九十年のあゆみ

- 昭和11年3月 筑紫洋裁女学院を創立。
昭和18年11月 財団法人東筑紫技芸女学校創立。理事長、校長に宇城信五郎就任。
昭和22年3月 財団法人東筑紫技芸女学校を財団法人東筑紫学園に改称する。理事長に宇城力子就任。
昭和22年3月 専門学校令による東筑紫女子専門学校を設置し、校長に宇城力子就任。
昭和22年4月 学制改革により東筑紫技芸女学校が東筑紫女子中学校となる。
昭和23年3月 東筑紫高等学校を設置し、校長に宇城力子就任。
昭和25年3月 東筑紫短期大学設立、被服科設置、学長に友枝高彦就任。
昭和25年8月 理事長に宇城信五郎就任。
昭和26年3月 財団法人東筑紫学園を改め学校法人東筑紫学園とする。理事長に宇城信五郎就任。
昭和26年4月 東筑紫幼稚園を設置。
昭和26年9月 東筑紫短期大学開学により東筑紫女子専門学校を発展的に廃止。
昭和27年11月 初代学長友枝高彦辞任し、後任に宇城信五郎就任。
昭和29年4月 短期大学に保育科増設。
昭和31年11月 創立二〇周年記念式典挙行。
昭和33年3月 講堂完成。
昭和33年4月 短期大学に栄養科増設。
昭和38年4月 東筑紫高等学校を東筑紫短期大学附属高等学校に、
東筑紫女子中学校を東筑紫短期大学附属中学校に、
東筑紫幼稚園を東筑紫短期大学附属幼稚園にそれぞれ名称変更。
昭和38年5月 体育館完成。
昭和41年4月 短期大学栄養科を食物栄養科に名称変更。
昭和41年5月 一号館完成。
昭和41年5月 創立三〇周年記念式典挙行。
昭和44年4月 短期大学被服科を被服専攻と服飾美術専攻に専攻分離。
昭和46年4月 学長宇城信五郎辞任し、理事長専任となる。学長に根津菊次郎就任。
昭和49年6月 学長に宇城信五郎就任。
昭和51年4月 創立四〇周年記念式典挙行、鉄筋4階建記念図書館完成。
昭和55年3月 学友会館完成。
昭和55年6月 学長に宇城力子就任。
昭和56年1月 三号館完成。
昭和56年5月 創立四十五周年記念式典挙行。
昭和57年1月 学園創立者・理事長宇城信五郎死去。
昭和57年2月 理事長に宇城力子就任。
昭和60年9月 宇城記念館完成。
昭和61年4月 東筑紫短期大学附属中学校を東筑紫学園中学校に名称変更。
昭和61年11月 創立五〇周年記念式典挙行。
平成元年4月 短期大学被服科を生活文化学科に、保育科を保育学科に、
食物栄養科を食物栄養学科にそれぞれ名称変更。
東筑紫学園中学校を照曜館中学校に名称変更。
学長に宇城照耀就任。
平成2年4月 創立五十五周年記念式典挙行。
平成3年11月 東筑紫短期大学附属高等学校を東筑紫学園高等学校に名称変更。
平成4年4月 創立六〇周年記念式典挙行。
平成8年10月 九州栄養福祉大学、東筑紫短期大学専攻科設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。
平成13年2月 二号館完成。

Contents

学校法人 東筑紫学園

02 — 本学の基本的教育方法について —

学校法人 東筑紫学園 理事長

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長 室井廣一

九州栄養福祉大学

食物栄養学部

04 杉元康志 学長補佐

大学院・健康科学研究科長

05 渡邊啓一 学部長

06 渡邊啓一 食環境データサイエンス学科長

07 34の企業・団体との包括連携協定

08 食物栄養学科 安倍ちか 学科長

09 食物栄養学科 卒業生の声

リハビリテーション学部

10 高橋精一郎 学長補佐

11 石橋敏郎 学部長

12 理学療法学科 廣滋恵一 学科長

13 理学療法学科 卒業生の声

14 作業療法学科 四元孝道 学科長

15 作業療法学科 卒業生の声

16 令和6年度 食物栄養学部就職状況報告

17 令和6年度 リハビリテーション学部就職状況報告

こども教育学部

18 脇田哲郎 学部長・学科長

19 こども教育学部 学びのポイント

東筑紫短期大学

20 保育学科 寺本普見子 学科長

21 保育学科 卒業生の声

22 食物栄養学科 土谷政代 学科長

23 食物栄養学科 卒業生の声

24 専攻科 寺本普見子 科長

25 専攻科 卒業生の声

26 令和6年度 東筑紫短期大学就職状況報告

その他 案内・報告等

28 学生活動紹介（九州栄養福祉大学）

29 学生活動紹介（東筑紫短期大学）

30 国際理解研修レポート

32 サークルレポート

33 令和6年度 研究紀要

34 令和6年度 シニアカレッジ開催報告

35 日本リハビリテーション発祥地記念館 見学のご案内
北九州市民カレッジ

平成13年2月 理事長に宇城照耀就任。九州栄養福祉大学設立、食物栄養学部・食物栄養学科設置。

平成14年4月 学長に宇城照耀就任。東筑紫短期大学学長に室井廣一就任。

平成15年12月 短期大学に専攻科（介護福祉専攻）設置。

平成16年4月 学園創立者宇城力子死去。

九州栄養福祉大学学長に室井廣一就任。

平成17年4月 九州栄養福祉大学大学院設立。（食物栄養学研究科 食物栄養学専攻修士課程）

平成18年4月 短期大学に美容ファッションビジネス学科を設置。

平成18年12月 創立七〇周年記念式典挙行政。

平成19年4月 専門学校九州リハビリテーション大学を四年制専門学校高度専門士課程に変更。

九州栄養福祉大学リハビリテーション学部設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。

平成21年4月 九州栄養福祉大学にリハビリテーション学部理学療法学科、作業療法学科を設置。

平成23年4月 九州栄養福祉大学大学院・健康科学研究科に名称変更。

平成24年4月 九州栄養福祉大学リハビリテーション大学校閉校。

平成26年3月 専門学校九州リハビリテーション大学附属幼稚園設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。

平成27年2月 認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園開設。

平成27年4月 日本リハビリテーション発祥地記念館・九州リハビリテーション大学校記念館設立。

平成28年4月 日本リハビリテーション発祥地記念館・九州リハビリテーション大学校記念館設立。

平成29年3月 認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園開設。

平成29年4月 幼稚園型認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園開設。

平成29年10月 学園創立80周年記念式典挙行政。

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学学生食堂・団体給食実習室棟完成。

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学講堂兼体育館完成。

九州栄養福祉大学美容ファッションビジネス学科廃止。

東筑紫短期大学美容ファッションビジネス学科廃止。

学校法人東筑紫学園理事長に室井廣一就任。

九州栄養福祉大学新学部・新学科設置準備室発足。設置準備室長に室井廣一就任。

九州栄養福祉大学（フイリピン共和国）と九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学との大学間協定締結。

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学小倉北区キャンパス5号館改築。

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学1号館改築。

九州栄養福祉大学食物栄養学部食環境データサイエンス学科を設置。

九州栄養福祉大学にこども教育学部こども教育学科を設置。

令和7年度 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 合同入学式 学長式辞

―― 本学の基本的教育方法について ――



室 井 廣 一

MUROI HIROICHI

学校法人 東筑紫学園 理事長
九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長

皆さん、おはようございます。また、おめでとうございます。今日は雨になるという天気予報でしたが、今のところ晴れております。学校の桜も満開で皆さんを歓迎しています。今春からは新しく「こども教育学部こども教育学科」、食物栄養学部「食環境データサイエンス学科」がスタートします。そのため一号館、研究棟は全面改装し五号館はデータサイエンス専門教育研究棟として最新設備を整備しました。一年半もかかった大工事も終了しキャンパスも装いを新たにして新入生の皆さんをお迎えしたというところでございます。本当におめでとうございます。また、ここまでお育てになられた保護者

の皆様、ご来賓の皆様方そして先生方、おめでとうございます。

私が新入生の学生諸君に最初に言っておきたいことは、本学の基本的教育のシステムのことでございます。本学の教育には教養教育や専門教育というものも勉強するということは当然でございますが、それと並行して四つの心を育てていくという建学の精神に基づく行事教育が組み込まれています。行事教育が教科教育と一緒に進んでいるのであります。この行事教育とはどういうことかと言うと、ひとつひとつの行事をここで言うことは出来ませんが、学内レクリエーション競技大会や農園実習、お掃除活動、成人式、針供養

などという内容です。こういう行事教育は四つの心を育てるのにとっても重要なことであり大切にしております。毎日勉強していく教科教育の知性・技術も大事ですが、こういう行事を通して教科教育の知性・技術だけでなく人間の人格の成長というものを保証していくという試みなのです。ですから皆さんは早速ですけれども来週から行事教育というものに入っていくわけでございます。詳しくはその時にまたお話ししたいと思います。

さて令和7年度より「こども教育学部こども教育学科」、食物栄養学部「食環境データサイエンス学科」が新たにスタートします。

こども教育学部では、保育所、幼稚園、小学校等、様々な発達段階がある中「こども」という視点でも包括的に見ていく先生がこれからは大事になっていくのではないかと思います。幼児の教育も小学校の教育も特別支援の教育も理解できる先生の養成が大切だと思います。そのために四つの資格取得（小学校教諭一種・特別支援学校教諭一種・幼稚園教諭一種・保育士）に挑戦できるカリキュラムを用意しています。皆さん頑張ってください。

食環境データサイエンス学科では、第四次産業革命と言われるこのデジタ

ル時代に必要な生成AIの活用、ビッグデータを読み生き抜くための最新技術を食環境の視点から学びます。また、最新技術の学びを実践するための企業実習や、講師派遣、共同研究並びに地域貢献のために地元北九州地域を中心とした34の食産業・IT関連企業及び団体*と連携協定を締結しました。データサイエンスは食環境だけではなく、保育や幼児教育、小学校教育、リハビリ、介護など他の様々な専門分野にも取り入れていかなければなりません。AIを中心とした技術革新によって約5割の仕事がなくなるとの専門家の意見もあります。つまりそういう時代に対応できるデータサイエンティストをこれからは育てなければならぬということです。情報が氾濫し何が本物かが判別しがたい時代、こども教育学部でも食環境データサイエンス学科でも、他の学科でも同じく重要なことです。しかしいかに情報産業革命時代でも、いやまさにそういう時代であればこそ、本学の建学の精神で言う「四つの心」で最終的には分析判断するという決断姿勢が必要であります。皆さん頑張ってください。

基本的に本学が目指している人格の理想像というものは「勇気・親和・愛・知性」という四つの心を育てていくとい

うところにあります。これは東筑紫学園が90年間、「筋にやってきたこと」でございます。四つの心の「勇気」とは簡単に言ってしまうと「進んでやれる元気な心」のことです。人間これがなくなってしまうになります。抽象的に言うとはおしまいになります。主体的に言うとは主体性という言い方をしますが、進んで前向きにできる、受動ではなく能動の心であります。

それから「親和」は「friendship」のことです。「皆と親しみ仲良くする心」です。つまり他者を受け入れる広がりを持った心です。

「愛」はいろいろな意味がありますが、本学で言う「愛」は「人を育む心」、慈しみ、育む心です。そういう心を持つていない、全然人に対する育む心が何もないという人は、いくら勉強が出来ると言っても少し心が寒いですね。北風が吹いてくるような感じであります。

それから「知性」、これは学ぶ心、探究心であります。

以上のような四つの心が充実し調和が取れてきますと私たちは誰でも自分の心の中に夢・目標を持ちます。本学園の幼稚園の卒園式では卒園証書を園長から貰った園児さん一人一人が、お母さんお父さんの前で自分の夢を語ります。将来何になるか、皆それぞれの夢を言ってもらいます。それがどこまで持続力があるかということとはともかくとして、夢を語らせるといふことであります。人間の成長にとって、夢・目標というものはとても大切なことであり

ます。この夢・目標が持続的で強くなってきましたと四つの心も大きくなってきました。両者は大きく関係しています。四つの心が大きくなつていくと自然に夢・目標も充実していきます。

この四つの心がひとつの人格の中に四隅の柱のようにしっかり立っていないと大きな目標は立てても長続きしません。この四つの心の上にしっかり立った夢・目標、皆さんで言うならば「教育者になる」あるいは「リハビリの先生になる」「データサイエンスを修得し新しい世界を北九州で拓く」という人もいると思います。しかしそれはそれで大事ですが、それが四つの心「勇気・親和・愛・知性」、日本の古典的概念ではこれを「荒魂・和魂・幸魂・奇魂」と申しますが、これらに支えられているかどうかということもとても大切なことです。この両方の勉強が本学では大切です。こういうように本学園は幼稚園から中学校、高校、短期大学、大学、大学院と一貫してやり続けている学校でございます。教科教育だけでなく教養教育だけでなく専門教育だけでなく、行事教育を通して四つの心・四つの生命力の修得を目指しているのです。

両親から代々伝わってきたこの四つの力を大きくしていこう、そういう人間になるために皆さんは今日から勉強しなくてはいけないということです。

しかし皆さん、両親から四つの力を貰ったといつてもいつ貰ったか分からないでしょう。私も分からないですけれど

ね。母親の腹から出てきた時に、個体が分離(separation)した時に貰ったのか、腹の中にいるときにこの勇気・親和・愛・知性は貰ったのか、母親の腹から出てくる時に非常に苦しい絶望的な限界状況で泣き泣き出てきてから貰うのか、色々あると思うのです。この生命力授受の時期に注目して胎教の大切さを語る人、三つ子の魂百までもと言つて幼児教育を重要視する人、ノーベル賞を受賞した人の「就学前教育」効果言説もあります。幼児教育の議論はいろいろあります。なかなか難しいところでありますが、少なくとも我々は母子一体が母子分離していく前後に四つの心の生命力の基本的「芽」が授受されて新人格が形成されていくように思われます。心しておかねばならないのは、その時のことは思い出せないから、こんな勇気・親和・愛・知性、四つの力、体と心を貰っていて、貰った相手に対する感謝の念が失ってしまうことです。なぜかというとタダで貰っているし、いつ貰ったかも知らないから感謝のしようがないのです。手袋をはめて労働している人は、数日ですぐに手袋が擦り切れてしまうことが分るでしょう。しかし我々の手というものは有難いもので傷ついても新陳代謝してすぐ治つてしまいます。こういう一生涯使えるものをタダで貰っている。タダで貰っているから、自分の両親に対する感謝の念なんて湧きようがないのです。しかも貰った時も覚えていないというわけです。しかしタダで、い

つ貰ったか分からないものにも尊い贈り物があるのです。それにいつか気付いたならば、自分の心と体を、せっかくいただいた命を大事にして、朝起きたら顔を洗って、夜一日疲れた時にはお風呂場で足の指一本一本を洗い、この指一本でも傷ついたら立ち上がる事が出来ませんから、このひとつひとつを授けてくれた人に「ありがとうございます」と感謝して、「長い間大事に使わせていただきます」という気持ちでお掃除をしななければいけません。顔だけ綺麗にしているだけでは駄目です。足の指一本一本洗いながら、「両親がくれたんだな」、「タダでもらっているから分らないかな」と18歳くらいになればそういうことが分かつてこなければいけません。四つの生命力と体を授けてくれた人は誰なのか、それが大問題なのですね。

以上のようなお話を最初にしまして、式辞らしい式辞でもないのですが、これから一緒に勉強して四年後には立派な四つの心を踏まえた高度な専門技術を持った専門家として皆さんがこの学校を巣立っていくことを祈念し入学式の式辞とさせていただきます。おめでとうございます。

(本稿は令和7年度入学式式辞に若干の加筆訂正を加えたものである。)

*1 連携企業・団体数は令和7年5月12日時点

地域と未来を育てる大学として



杉 元 康 志
SUGIMOTO YASUSHI

食物栄養学部 学長補佐
大学院・健康科学研究科長

本学の学生、保護者の皆さま、そして地域社会の皆さまへ――
平素より本学の教育・研究・社会活動に深いご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

大学を取り巻く現状の環境は今だかつてないほどの厳しい状況になっています。18歳人口の減少、急速なグローバル化、そして生成AIをはじめとする技術革新は、大学教育のあり方に根本的な問いを投げかけています。特に私立大学は厳しい局面にさらされ、学生の確保が最重要課題となっています。より質の高い教育システムの構築と地域社会と連携した大学としての発展が求められています。本学は社会の変化とニーズに鋭敏に反応し、質の高い教育を堅持し、社会が求める多様性や持続可能性の課題に真摯に取り組み、開かれた大学として積極的に関与していく所存であります。

こうした時代の要請に応えるべく、

本学の教育理念である4つの心、勇気、親和、愛、知性を兼ね備えた豊かな社会性と人間性ある人材養成するため以下のようないくつかの重点課題に取り組んでいます。

第一に、「学びの質の向上」です。単なる知識の習得にとどまらず、学生一人ひとりが「自ら問いを立て、考え、行動する力」を育むことが、これからの教育の核となります。そのために本学では、PBL（課題解決型学習）の導入やアクティブラーニングの充実、また生成AIの活用を含むリテラシー教育の強化を進めています。

第二に、「地域との共創」です。本学は地域に根ざした大学として、地元企業・自治体・NPOと連携し、実社会に貢献するプロジェクトを数多く展開しています。地域課題を実際にフィールドで学ぶことで、学生たちは現場の複雑さに触れ、実践力を磨いています。

第三に、「多様性と包摂性の推進」です。学生への平等なサービスや合理的配慮の必要性ある学生への真摯な対応、誰もが安心して学べるキャンパスを目指しています。

社会からの大学へのニーズは実務能力と即戦力の獲得が求められています。また、国家資格の取得が注目され、資格教育がある大学に人気が高まっています。

ます。本学はまさしく国家資格を目指す大学であるのが主なる特徴です。社会に連携した実務教育が主要なものとなっています。食物栄養学部の管理栄養士、リハビリテーション学部の理学療法士や作業療法士はそれぞれの質の高さに社会から高い評価を受けています。さらに高い教育を目指す学生には本学の大学院健康科学研究科への進学もあり、キャリアアップにつながります。令和7年度に新しく設置したこども教育学部こども学科においては幼児・初等教育の重要性を鑑み、小学校教諭1種免許や特別支援学校1種免許、幼稚園1種免許、保育士資格を取得でき、乳幼児から児童の教育に精通した人材の養成に努めていきます。また、食物栄養学部に食環境データサイエンス学科は食にまつわる諸課題を最新のコンピュータテクノロジーを使って、データサイエンティストを養成し、デジタル社会のスペシャリストを輩出

ます。本学はまさしく国家資格を目指す大学であるのが主なる特徴です。社会に連携した実務教育が主要なものとなっています。食物栄養学部の管理栄養士、リハビリテーション学部の理学療法士や作業療法士はそれぞれの質の高さに社会から高い評価を受けています。さらに高い教育を目指す学生には本学の大学院健康科学研究科への進学もあり、キャリアアップにつながります。令和7年度に新しく設置したこども教育学部こども学科においては幼児・初等教育の重要性を鑑み、小学校教諭1種免許や特別支援学校1種免許、幼稚園1種免許、保育士資格を取得でき、乳幼児から児童の教育に精通した人材の養成に努めていきます。また、食物栄養学部に食環境データサイエンス学科は食にまつわる諸課題を最新のコンピュータテクノロジーを使って、データサイエンティストを養成し、デジタル社会のスペシャリストを輩出

大学院研究科からのご挨拶

皆さま、こんにちは。九州栄養福祉大学大学院修士課程健康科学研究科からのご挨拶であります。まずは、日頃より本研究科をお引き立ていただき、感謝申し上げます。本研究科は食物栄養学部の管理栄養士とリハビリテーション学部の理学療法士と作業療法士の資格を有する学生を主体にした教育課程となっています。つまり食物栄

します。

地域連携センターが一昨年度設置され、地域との連携、企業団体との連携を積極的に行い、高い評価を受けています。本年4月には地域連携センター室がリニューアルした1号館1階に開設され、キッチンスタジオをはじめ地域と共同で活動できる施設が設けられました。子ども食堂や料理教室、商品開発、連携企業などとの共同研究に利用が期待されています。

本学で学ぶ若者たちが、将来に期待をもって、その才能を生かしながら、自ら学び、社会に適応し、社会に貢献できる人材となるように、私たち教職員一同、これからは誠実に、そして学生と共に、お互いを切磋琢磨しながらより良い大学になることを目指していきます。

今後とも本学への温かいご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

養専攻分野とリハビリテーション専攻分野になっており、学生はそれぞれの分野の知識を深めながら研究を履行していくシステムになっています。一方、ヒトの健康におけるこれらの分野は共通点が多く、授業では分野を越えて積極的に学ぶようにしています。食物栄養専攻では九州では数少ない臨床栄養師の資格講座を開設しており、日本健康・

高い志を持った管理栄養士や データサイエンティストを目指して



渡 邊 啓 一
WATANABE KEIICHI
食物栄養学部長

食物栄養学部「食物栄養学科」は、平成13年4月に本学の建学精神「勇気・親和・愛・知性」を基盤として、食を通じて福祉を実現する使命感を持った管理栄養士を養成するために開設されました。令和7年3月には第21期生を送り出し、総勢2,290名の卒業生を輩出しています。就職率は開設以来100%を誇り、卒業生は病院、介護施設、保育園、保健所などで管理栄養士として活躍するほか、栄養教諭、企業の食品開発・企画職など多様な分野で力を発揮しています。また、自ら起業して活躍している卒業生もいます。これらの卒業生は本学の誇りであり、講演などを通じて在学生に貴重な学びを提供しています。

昨年度は、新しく開講した「食環境地域連携演習」が注目を集めました。学生たちは北九州市や地域の企業・団体と連携し、「トマトの恩返しシリーズ」「子供の居場所づくりプロジェクト」「竹炭かきんとう」「サンタウオーク」「旦過市場手巻き寿司コンテスト」などの社会貢献活動を展開しました。これらの活動はマスコミで取り上げられ、県内や全国で表彰されるなど高い評価を受けました。これらの活動を通じて、学生たちは社会奉仕の喜びを実感し、食の専門職としての視野を広げました。本年度も地域に根ざした大学として、さらなる地域貢献を推進します。

現代の「人生100年時代」では、単に長生きするだけでなく健康で充実した生活を送ることが求められています。また、昨今のデジタル社会の進展を背景に、様々な領域で必要なデータを収集・分析・解釈し、新たな価値を生み出すデータサイエンス

の重要性が高まっています。このような背景から、令和7年4月に食物栄養学部内に「食環境データサイエンス学科」を新設しました。本学科では、食環境や健康に関する専門知識を学び、最先端のAI・データサイエンス技術を修得することで、農業、食品製造、流通、健康管理のデータ分析を通じて課題解決に挑むデータサイエンティストを育成します。

本学部で育った管理栄養士とデータサイエンティストが協働し、持続可能な地域社会と世界の健康福祉に貢献することを期待しています。学生の皆さんが未来を切り拓く「グローバル人材」として、ここから第一歩を踏み出すことを心から願っています。教職員一同、皆さんの成長と挑戦を全力で応援します。

栄養システム学会から資格認定を受けることが出来ます。本研究科は自ら考え、自ら計画し、自ら実行し、自ら発展することをモットーとしています。

近年、入学者数や進学者数の減少が続いている一方、社会人を中心とした入学者の割合が増加しています。この状況を踏まえ、私たちの研究科は、今後の持続的な発展と質の高い教育提供のために、以下のような取り組みを進めてまいります。1. 制度の改革：社会人や働きながら学ぶ方々にも柔軟に対応できるオンライン授業や夜間・週末コースの拡充、履修制度の見直し2. 学生への啓発：健康科学の重要性や本研究科の特色、将来性について積極的な情報発信し、魅力を伝える広報活動の強化3. 教員の意識向上：学生一人ひとりのニーズに応える指導力の向上と、実践的・応用的な研究・教育の推進4. 産学連携・地域連携の強化：実社会とのつながりを深め、実践的な学びやキャリア支援の機会を増やす5. 学内外のネットワーク拡大：国内外の研究機関や企業との連携を強化し、学生の多様なキャリアパスを支援し、これらの取り組みを通じて、学生一人ひとりの将来への方向性や目的を実現できる環境づくりに努め、未来のキャリア形成に役立てるよう全力で応援致します。本研究科が活気ある大学院として、学生をはじめ社会から期待される研究教育機関として成長したいと考えます。

データサイエンスで未来の健康福祉社会に挑戦！



渡 邊 啓 一

WATANABE KEIICHI

食環境データサイエンス学科長

ることができます。また、超高性能コンピュータサーバを用いた計算実験を通じて、タンパク質や酵素など生命に不可欠な分子の構造や機能を解析し、機能性食品や医薬品の開発に挑戦することも可能です。

本学科の独自の取り組みとして、学科棟内に日本を代表するDX推進企業である株式会社オプ

令和7年4月に新設の「食環境データサイエンス学科」では、食と農、健康に関する専門知識を学び、最先端のAIおよびデータサイエンスの技術を習得することで、未来の食環境や健康分野の課題に対して科学的かつ実践的に解決策を提案し、地域社会や世界の福祉に貢献できる人材を育成します。

授業では、理論と実践の両方を重視し、34の企業・団体や九州工業大学との連携を通じて、学生が自ら関心を持つ分野で実践的な研究に取り組める環境を整えています。たとえば、最新の測定機器を用いて食事運動、睡眠が健康に与える影響を多角的に分析したり、急速冷凍技術を活用して新たな食の可能性を探った

ティム（菅谷俊二社長）のサテライトオフィスを設置し、スタッフが常駐することで、インターンシップやアルバイトの機会を提供しています。これにより、学生は学んだデータサイエンスのスキルを実際の仕事にどう活かし、収入を得るキャリアにつながるられるかを会得できます。

この4月に入学した第一期生の意欲は非常に高く、食物栄養学科の学生とともに「起業家同好会」が発足しました。今後、彼らがどのような革新的な事業アイデアを生み出すのか、大きな期待を寄せています。特別客員教授である菅谷社長は、佐賀大学在学中に現在の東証プライム企

業であるオプティムを創業しました。本学科から菅谷社長に続く起業家が輩出されることを期待しています。新たな知識とスキルを身につけ、未来を切り開く「グローバル人材」として地域から世界に羽ばたく第一歩を、本学科から踏み出してほしいと願っています。学生一人ひとりの成長と挑戦を、私たちは全力で応援します。

AIイノベーション・データサイエンスラボ KIDS LABO. (キッズラボ)を併設予定！

政令指定都市北九州市中心エリア、クロスロードでAI×データを駆使した未来を拓く学びに挑戦し、身近にある第4次産業革命を体験しよう



AIとデータサイエンスを駆使して、未来の可能性を切り拓くイノベーションラボです。子供から大人まで、あらゆる世代が集うこのラボでは、各人の才能を開花させるための環境を提供します。最先端の技術に触れながら、実社会への応用も模索します。学びとイノベーションが交差するこの場所（ジャンクション）で、新しい時代の先駆者を目指しましょう。



Kyushu Nutrition and Welfare University
AI Innovation and Data Science Lab.

北九州市小倉北区清水交差点（学科棟から徒歩すぐ）

34の企業・団体との包括連携協定

東筑紫学園九州栄養福祉大学では、34の企業・団体との間で包括的な連携を図ることとなりました。新しく開設された『食環境データサイエンス学科』では、AI・データサイエンスの深い専門知識と技術を食環境・健康分野に応用することで、子供から高齢者までの「豊かな食生活と健康」を支える持続可能な社会に貢献するグローバル人材を育成することを教育上の目的としています。また、本学の食環境・健康分野の教育・研究実績を背景に、地元の企業・団体や日本を代表するAI活用企業との産学連携を含むAI・データサイエンスの基礎から実社会での応用までを修得できる体系的な教育プログラムにより、卒業後、社会で即活躍できる人材の育成を目指します。

さらには、包括連携企業・団体へのインターンシップやフィールドワーク及び同企業・団体との共同研究、人材交流などを通じて実践的な学びを提供するとともに、相互の知識と資源を活用しながら、技術革新及び地域産業の振興に貢献していきたいと考えています。

本連携は、教育・研究の質の向上に加え、地域社会の持続可能な発展に寄与するものと確信しています。

包括連携の目的

本協定は、本学及び関係企業・団体が互恵の精神に基づき、多様な分野での連携を持続的・効果的に推進することにより、北九州地区における学術研究の発展、地域産業の振興、教育・人材育成に寄与することを目的とする。

包括連携事項 ※本内容は関係企業・団体によって、多少異なります。

- (1) 教育・人材育成に関する事項
- (2) インターンシップに関する事項
- (3) 学術研究に関する事項
- (4) 地域産業の振興に関する事項
- (5) 地域社会の活性化に関する事項
- (6) その他本協定の目的を達成するために本学及び関係企業・団体が必要と認める事項



九州栄養福祉大学
Kyushu Nutrition Welfare University



包括連携企業・団体



社会の変化に適切に対応し、使命感を持った管理栄養士の育成を目指して



安倍 ちか
ABE CHIKA
食物栄養学科長

食物栄養学科では、本学の建学の精神である筑紫の心「勇氣・親和・愛・知性」の調和のとれた人間性を育むことを基盤として、食を通して福祉を実現できる使命感を持った管理栄養士の育成に務めています。現在、日本は65歳以上の高齢者の割合が全人口の21%を超えた「超高齢化社会」に突入しています。このような中、平均寿命と健康寿命に10年ほどの大きな差を生じており、この差をどう縮めQOLの向上を目指していくのかが重要となっております。高齢化の進行や生活習慣病等が増加の傾向にある一方で、人々の健康志向が高まっている現代において、管理栄養士は、健康や栄養など、食の多様化や健康に関する様々な課題の解決に

向けて対応できる欠かせない存在であるといえます。これからの管理栄養士は、AI技術の発展により栄養関連の基礎業務の効率化を図るなど、AIとの共存が求められます。AIが提供する客観的なデータと管理栄養士が持つ専門知識や栄養教育のスキルを組み合わせることで、質の高い栄養ケアが可能になっていくからです。本学の食物栄養学部は今年度より「食環境データサイエンス学科」が開設され、本学科においてもカリキュラムに数理・データサイエンス・AI教育プログラムを導入するなど、デジタル社会の基礎的な栄養についても習得できます。また、管理栄養士が携わる医療や介護、福祉等の現場では、多職種によるチーム医療が広がっており、周りのスタッフと連携し、調整しながら対象者一人ひとりに寄り添ったサポートが必要とされています。南区にあるリハビリテーション学部と連携し、「食」と「リハビリ」を通して人々の健康を支えることがで

きるのも本学の強みです。以上のことから、本学では社会の変化を適切に捉えるとともに、筑紫の4つの心を調和させ、地域社会の福祉への貢献と人々の健康づくりのエキスパートとして活躍できる人材の輩出に務めて参ります。

第39回 管理栄養士国家試験

本学合格率

86.2%

75名合格/87名受験
全国新卒合格率平均 80.1%

栄養教諭一種免許状取得
令和6年度卒 18名

国家試験対策・取組み

食物栄養学科では、1年次からキャリア等で建学の理念である「筑紫の心」に基づいて目指す管理栄養士像を明確にするとともに、1日3問の過去問にチャレンジするなど早い段階から国家試験に向けて取り組んでいます。

また、4年次には各専門科目担当者によるオムニバス形式のきめ細かな対策授業や月1回以上の模擬試験を実施し、その結果をもとに自分の実力の確認と弱点強化を図り、実力アップにつながるよう国家試験対策を充実させています。国家試験前の1月～2月にかけては、春季補講や激励会を開催し、モチベーションのアップにつなげています。

[Message] 卒業生の声

チーム医療で専門性を発揮する病院管理栄養士

医療法人 共和会 小倉リハビリテーション病院 勤務

脇山 明日香 さん

令和6年3月卒 ●北九州市立高等学校出身

私は管理栄養士として、回復期の病院に勤めています。主な業務内容は、リハビリをされる患者様の栄養管理業務や栄養指導です。体格や活動量に合わせた食事の提供を行い、リハビリで最大限の力を出せるようサポートをしています。回復期は、入院期間が長い為一人ひとりに関わる時間が多くなります。直接患者様のもとに伺い、食事や他愛ない話をしながら栄養状態やリハビリの状況の確認を行います。中には、様々な要因でなかなか食べられない患者様もいます。他職種と課題点やどのような介入が必要なのか情報共有し、食事内容を検討していく中で、「食欲が出てきた!」と徐々に食べられるようになってきたり、「ありがとう」と感謝の言葉を頂いた時にやりがいを感じます。また、必要に応じて患者様やご家族に栄養指導を行います。同じ疾患の患者様でも生活背景に合わせた提案が出来るように意識しています。大学での学びは、沢山活かすことが出来ます。九州栄養福祉大学は、クラス担任制の為、国家試験や就職などの支援が手厚く、とても心強く感じました。学生同士の距離も近く、同じ目標に向かって切磋琢磨しながら充実した学校生活を送ることが出来ました。親身に寄り添い、夢に向かって応援してくれる大学です。



行政管理栄養士として

～誰一人取り残さない健康づくりを目指して～

鹿児島県屋久島保健所 勤務

永木 美夢 さん

令和6年3月卒 ●出水中央高等学校出身

私は現在、管理栄養士として鹿児島県屋久島保健所に勤務しています。業務内容は、健康講話や給食施設等への立入検査、住民の方からの相談対応、関係者に対する研修会や協議会の開催等です。保健所職員は異動がつきものですが、多職種の方と関わることができ、人脈も広がるため、仕事の面でもプライベートでも充実した毎日を送ることが出来ます。

保健所で働く管理栄養士の主な役割は、地域の健康課題改善に向けて効果的な事業を展開し、住民のQOLを向上させることです。生活状況は一人一人異なるため、より細やかな支援が必要な場合は個別に対応することはもちろん、職場内で自然に健康になれる環境があれば、生活習慣を見直すきっかけにつながり、結果的に子どものためにも自分の将来のためにもなるため、今年度は働き世代に対する支援を重点的に行っています。

健康講話の際に住民の方からたくさん質問をいただいたり、「効果が出てきたよ」と声をかけていただいたりしたときはとても嬉しく、やりがいを感じます。顔を合わせて話すことはとても大切なことだと実感しているところです。

大学の先生方はプロフェッショナルな方々ばかりです。いろんなことに興味を持ち、たくさん質問することで、参考書だけでは分からない面白いお話をたくさん聞くことができます。大学での経験は、就職先を決めるきっかけにもなれば、就職後も役立つときが来ます。ぜひ、大学の先生方をたくさん頼って充実した大学ライフを過ごしてください。

データサイエンス学科とリハビリテーション学部



高橋 精一郎

TAKAHASHI SEIICHIRO

小倉南区キャンパス 学長補佐

今年4月に「こども教育学部・こども教育学科」と「食物栄養学部・食環境データサイエンス学科」(以下、データサイエンス学科)が新設・開講され、南区キャンパスにも活気のある雰囲気伝わってくる。北区5号館はデータサイエンス学科の校舎であるが、以前はリハビリテーション学部(以下、リハ学部)の校舎であったため改装されたものである。校舎内覧会の際には内部の変わり様に驚いた。まず最近のIT企業のオフィスのようなカフェテリア風のコミュニケーションエリアが目に入る。学生と教職員との会話もリラックスした雰囲気できそうである。講義室や実習室もリハ学部時代の殺風景で硬い感じのつくりと異なり、柔らかさを感じる内

装である。5階のラボラトリエリアでは高気圧酸素キャビンドームなど最新の機器が整備入されているが、中でも興味を引かれたのは「モーションキャプチャー」である。文字通り人や物の動きを捕らえるシステムであるが、現在リハ学部にある3次元動作解析システムに比べれば、多方向から細かな動きを分析することができ。スポーツ分野や医療分野での利用度が高く、スポーツ分野では各種競技における選手のフォームの解析や課題の抽出などに用いられ、医療分野においては対象者の運動・動作解析に活用できる。リハ分野では健常児・者と運動障害を有する対象児・者との動作の比較やリハ治療実施後の動作の確認などを通して、治療・練習課題の抽出やそれらの改善度や効果判定など、得られたデータから多くの分析が可能である。エビデンスが乏しいといわれているリハ治療への指摘にいくらでも反論できる研究ができるのではないかと期待を持っている。そもそ

もデータサイエンス学科になぜモーションキャプチャーがあるのか？が最初に持った疑問である。食環境のデータと動作解析が結びつかず困惑したが、学科との連携企業の中にはロボット分野で業績のある企業もあり、モーションキャプチャーはロボット業界でも多く活用されていることから、その関係性が理解できる。今後の介護分野での人手不足を補うためのロボット活用を考えれば、介護に必要なヒトの動きをロボットに修得させることは不可欠で、現在の連携企業や九州工業大学との共同研究・開発は学科のみならず大学の力になるものと考ええる。障がい者や高齢者の動作解析はリハ学部の得意とするところであり、対象者に対する介護動作の解析も然りである。加えて、動作に伴う力を計測する「床反力計(フォースプレート)」や活動筋の電気的変化を計測する「筋電計」も設置されれば正確で質の高いデータの解析ができる。研究設備の充実を図ることで可能性は広がっていく。リハ学部ではモーションキャプチャーを利用して4年生の卒業研究に取り組

む準備も進んでおり、今までの「栄養とリハ」をテーマとした取り組みに加えて、データサイエンス学科をはじめ、大学・短大の各学科や介護専攻科と「栄養と運動」「栄養とリハと介護」などのテーマで共同研究ができるのではないかと思っている。更には中等部・高等部とも生徒の運動発達の視点から共同研究ができ、野球部では投手のピッチング・フォーム、野手のバッティング・フォームの解析など甲子園を目指す指導に応用できる。各学部・学科の強みを結集させることでこれからの新しい大学の方向性も示すことができる。それには、学外に向けて九栄大ではこんな勉強・こんな研究ができるという研究実績を示し、高校生には大学を、大学生や社会人には大学院を目指してもらうようにアピールしていくことが大切である。創立100年を超えていくには学部・学科のみならず企業や他大学との連携を基盤として大学の力を示さなければならない。

食環境データサイエンス学科とのコラボレーションによる 科学的根拠を高めるデータの活用方法について



石橋 敏 郎

ISHIBASHI TOSHIRO

リハビリテーション学部長

が行われています。その最新技術の1つが人間の動きを正確に再現（シミュレーション）できる画像技術の導入であり、スポーツ分野に限らずリハビリテーション分野にも導入されています。

トップレベルのスポーツ選手は、身体の部分的な怪我であつても選手生命を絶たれる危険性があり、その代表的な怪我の1つとして、膝関節にある前十字靭帯が断裂してしまうケースがあります。サッカーやバスケットボール選手に多く発生するこの怪我は、プレー中の膝関節の異常な動きが原因とされています。この靭帯が断裂した後にスポーツ現場に復帰するためには、靭帯を代用する筋や靭帯を別の場所から切り取って補強する再建術を受けなければならず、手術後は過酷なリハビリテーションをしなければ、元のスポーツレベルまで回復することは困難です。しかし、無事に現場に復帰しても受傷時と同じ身体の使い方をすると、再断裂してしまう危険性がありますので、怪

我を予防するための身体の使い方を身につける必要があります。この指導の際に、セラピストは選手の動きを正確に捉えたシミュレーション装置という科学的なデータを活用した根拠ある指導が求められることになります。

多いために、自分が発する言葉の重みを分らないまま伝えてしまった、誤解を招いて人間関係がうまくいなくなることもあります。最初は上手いかわなくても、試行錯誤を繰り返していると理想的なコミュニケーション能力が身につきますので、もっと積極的に他者と直接交流する機会を増やしてほしいと願っています。

セラピストには、選手的能力を最大限に引き出す確かな知識と技術を備えた指導力だけでなく、選手との信頼関係を築くことが何よりも重要です。選手との確かな信頼関係を構築するためには、選手の身体面だけでなく、精神面にも配慮した対応力が求められます。その能力を身に付けるためには、東筑紫学園の建学の精神である「筑紫の心」である4つの心がすべて備わっていないとなりません。自身の臨床経験から、セラピストに身につけてほしい能力は、他人の気持ちにわかる、心の優しい思いやりをもっていることであり、4年間の大学生活のなかで、ぜひ見につけてほしいと願っています。

現代の若者は面と向かつて他者と意見を交わすよりも、メールやチャットで間接的に気持ちを伝えることが

学生のコミュニケーションやプレゼンテーション能力を向上するために、大学では伝統的に「ゼミナール」という演習科目が設定されています。このゼミでは少人数で、1つのテーマについて話し合うなかで、他人の意見をきちんと聞いて質問したり、意見を出し合って切磋琢磨していく貴重な時間です。最初は他人に意見を述べたりすることが苦手な学生であっても、少しずつレベルアップしていくことが期待されます。

リハビリテーション学部では、建学の精神である4つの心をバランスよく備えたうえで、他者との確かな信頼関係の構築できる、食とデータに強いセラピストを養成することを目指していきたいと考えています。

今年度は小倉北区キャンパスの食物栄養学部「食環境データサイエンス学科」が新設され、AIやDXなどの最先端のデータ処理技術を活用して、社会に貢献できる人材の育成を目指す新たな試みが始まり、その将来性に期待しています。リハビリテーション学部では、この新しい学科と積極的な情報共有を図りつつ、身体活動に関する客観的で正確なデータの有効な活用方法を学ばせていただきたいと考えています。

最近ではスポーツ分野においても最新機器を用いてトレーニング中にデータを蓄積・分析して、その効果を常に検証しつつ、選手の能力を最大限に発揮させる新たな方法の考案など

憧れることの大切さ



廣 滋 恵 一
HIROSHIGE KEIICHI
理学療法学科長

す。なぜなら、「憧れ」は目標を持つことの第一歩であり、人が内面から動き出す最初のきっかけからです。誰かの姿に心を動かされ、「あんなふうになりたい」と思うこと、それは「ビジョン」を描くことであり、未来を想像する力なのです。

験問題を定期的に配信してスマートフォンに届けています。毎日コツコツ努力することが国家試験合格という目標達成に繋がり、その達成が自信となつて次への目標に勇気を与えてくれます。数々の目標をクリアした姿は、いつしかあなた自身が誰かの憧れになる、そんな日をもたらすことでしょう。

2023年、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)のアメリカとの決勝戦、プロ野球選手が集まった日本代表のロッカールームで、試合前に大谷翔平選手は「憧れるのをやめましょう」とメンバーに語りました。勿論、大谷選手の言葉の意味は「尊敬するな」ということではありません。憧れすぎること、相手と自分の間に「越えられない壁」を作ることへの警鐘だったのです。同じ舞台上で対等に戦つて勝つためには相手を見上げるのではなく、自分達の力を信じようというメッセージが込められていました。

本学で理学療法士を目指している学生の皆さんにも、きつと憧れの理学療法士、尊敬する理学療法士に出会った人が多いはずです。是非、高い目標を掲げ憧れの存在に近づいてください。とは言え、どの様にすれば良いのでしょうか？

憧れは目標の第一歩と述べましたが、目標達成には計画が必要になります。計画を実行するには行動が必要であり、行動することは人生を変えることとなります。難しい計画を立てるのではなく、「千里の道も一歩から」というように、どんなに大きな目標でも、まずは小さな一歩を踏み出すことから始めましょう。

理学療法学科では、1年生から4年生まで学年担任が過去の国家試験

第60回 理学療法士国家試験

本学合格率

95.1%

78名合格/82名受験
全国合格率平均 89.6%

- ・園芸療法士取得 令和6年度卒 10名
- ・パラスポーツ指導員(初級) 令和6年度卒 54名

理学療法(Physical Therapy:PT)とは

理学療法(Physical Therapy:PT)とは、交通事故やスポーツ障害、生活習慣病や高齢化、小児疾患など身体が不自由になった方々に対し、心身の両面から機能回復・維持をはかる医療です。身体機能・心理面・リスクなど、個々の状態を科学的にとらえ、適切な治療方法や目的を設定することで治療を進めます。人の動きやその機能を医学的に分析・考察し、運動を治療や練習の手段として活用する高度な医療技術のひとつです。

国家試験合格は大きな目標の通過点

理学療法士として働くためには国家資格の取得が不可欠です。本学科では国家試験合格はもとより、高度な知識技能と科学者としての目を持った専門家として障害に苦しむ方々を支えられる人材育成を大きな目標としています。

その意味で理学療法士は、生涯が勉強の連続。まずは、「人間の体の神秘を楽しく学ぼう!」これは本学理学療法学科の合言葉です。

本物が本物の場所で本物を育てるためのカリキュラム

実際のカリキュラムでは、入学直後の早朝から臨床経験を多く積めるように配慮しています。また、学外から各分野のスペシャリストを講師として招き、医療全般の実務に関わる内容が講義されます。

「本物が本物を育てる」教育環境・リハビリ発祥の地で、医療人としての自覚を促すカリキュラムが展開されます。また、社会人としての基本的マナーなど、医療人としての基本的な教育も、教室の内外を問わず実践します。人間性豊かな専門家を育て上げることこそ、本学科の大きな目標です。

[Message] 卒業生の声

多くの方に支えられ患者様と向き合う

医療法人 南川整形外科病院 勤務

木戸 隆介 さん

令和5年3月卒 ●九州国際大学付属高等学校出身

私が勤務する南川整形外科病院は、整形外科領域の患者様を中心に、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の方々が来院されています。中でも、ACL損傷や投球障害肩・肘など、スポーツリハビリテーションにも力を入れています。

私は1年目より外来スタッフとして配属されました。常に意識してきたのは「何より患者様に寄り添う」ことです。知識や技術はもちろん重要ですが、それ以上に患者様の困っていることに対して向き合うことが大切だと感じてきました。そうすることで徐々に「リハビリの効果が出ているか？」という不安よりも、「患者様の改善のために何が必要か？」を考えるようになりました。困難に直面した際には、先輩スタッフに触診や徒手療法などの指導をしていただき多くのサポートを受けてきました。今の自分があるのは、温かく支えてくださる職場環境のおかげだと感じています。

大学時代の友人や、学生を第一に考え導いてくださった先生方、事務の皆様との出会いにも大変感謝しています。大学4年間のすべての出会いと経験は私の大切な財産です。

在校生の皆さんも、ぜひ多くの人と出会い、経験を通して視野を広げてください。そしていつか臨床の現場で、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



子どもたちの生活が豊かになるために

社会福祉法人 こぐま福祉会 こぐま学園 勤務

網内 唯衣 さん

令和5年3月卒 ●東筑紫学園高等学校出身

私が勤めるこぐま学園は福岡県小郡市にあり、肢体不自由児（者）や重症心身障害児（者）、発達障害児を対象に医療・福祉サービスを通して、乳児からおとなの方の支援を行っています。当園は、児童発達支援センターや生活介護事業所などがあるため、子どもたちの生活場面にも着目してアプローチすることができます。また子どもたちに関わる際には作業療法士や言語聴覚士、保育士など多職種で連携しアプローチを行っています。

就職してから3年目になりますが、子どもたちが楽な姿勢で過ごすことができ、自宅や保育園、学校、事業所などで楽しんで過ごしてもらえることを大切にしています。子どもたちから「楽しかった」という言葉を聞くことができたり、かわいい笑顔を見ることができるととても嬉しく、毎日頑張ることができています。

九州栄養福祉大学で過ごした4年間を振り返ると、実績ある先生方から様々なことを学ぶことができた非常に恵まれた環境であったと卒業してから感じる事が多くあります。伝統ある九州栄養福祉大学で人との出会いを大切にしながら夢に向かって頑張ってください。皆様の大学生活が充実したものになりまよう心より応援しています。



作業療法士としての多様性



四元 孝道
TAKAMICHI YOTSUMOTO
作業療法学科長

この春、35名の学生が本学科を卒業し、それぞれの道へと巣立っていました。そのうち、34名(97.1%)が見事、作業療法士国家試験に合格しました。本学科の合格率が全国平均(92.5%)を大きく上回っていることは、学生たちの真摯な努力に加え、本学科の支援体制の高さを物語っています。卒業生の皆さんの新天地での活躍を心から応援しています。

そして、4月には、28名の新入生を迎え入れました。新たな目標に向かって一歩を踏み出した新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる学生生活が、実り多く、輝かしいものとなるよう、教職員一同、皆さんの成長を全力でサポートします。

本学科は教員と学生の距離が近く、質問しやすい環境です。学生同士も互いに刺激し合い、支え合いながら学びを深めています。

現在、作業療法士のニーズは社会全体で高まっています。超高齢社会の進展に加え、精神保健分野、地域リハビリテーション、さらには小児・教育分野や産業分野など、活躍の場は多岐にわたります。病気や怪我、発達上の課題などにより生活に困難を抱える方々に対し、機能の回復・維持だけでなく、その人らしい生き方を支援する作業療法士は、社会に貢献できる大変やりがいのある仕事です。

本学部は「リハの番人・健康生活の番人」という教育理念があります。この度、世界作業療法士連盟(WFOT)の教育プログラム基準を満たした認可校として、延長が認められました。これは本学科の教育レベルが国際的な基準に合致していることの証明であり、番人たる所以となるものです。また、豊富な専門知識を持つ教員による質の高い授業に加え、学内

での実技演習、そして地域の多様な医療・福祉施設での臨床実習を通して、実践的なスキルと幅広い視野を養います。学習面だけでなく、学生生活全般にわたる手厚いサポート体制も整っており、安心して学ぶことができます。あなたが人々の生活を豊かにし、笑顔届けたいという思いがあるなら、ぜひ本学科でその夢を形にしてください。皆さんとお会いできることを心待ちにしております。

第60回 作業療法士国家試験

本学合格率

97.1%

34名合格/35名受験
全国合格率平均 85.8%

- ・園芸療法士取得 令和6年度卒 29名
- ・パラスポーツ指導員(初級) 令和6年度卒 11名

作業療法(Occupational Therapy:OT)とは

作業療法とは、様々な要因により日々の生活行為に困難を抱える人々に対し、その人にとって価値のある「作業」(日常生活活動、仕事、趣味等)に焦点を当てた治療・指導・援助です。

心身の機能回復や維持、(再)作業獲得、活動しやすい環境を整えることで、その人らしい健康で幸福な生活の実現を医療・保健・福祉・教育・就労等の幅広い領域で支援します。

コミュニケーションの力を培う

効果的な治療を実現するためには、障害に苦む方はもちろん、ほかのスタッフたちとのコミュニケーションが重要です。本科のカリキュラムではゼミナール形式のグループワークをふんだんに取り入れることで、専門知識を深めるとともにコミュニケーション能力を身につける機会を設けています。個性を認め大切にするのがリハビリテーションの基本です。相手の意見を聞き、自分の意見を伝える力を培います。

真の医療人を目指す道は平坦ではない

入学早期から実習を通して医療の現場にふれるほか、各界の講師を招き、幅広い内容の授業を行うなど、医療人としての確かな知識、技能、自覚を持つための授業を幅広く展開しています。教室は、生涯を通じて優れた医療人であるための基礎を徹底的に身につける場です。本学を卒業すれば、みなさんは学生ではなく一人の医療人。私たち教員にとっても同じ医療に携わる仲間になります。そんな想いで指導しますから、中途半端は決して許されません。医療人として真に優れた作業療法士を目指してください。

[Message] 卒業生の声

患者様の笑顔のために

医療法人 松和会 門司松ヶ江病院 勤務

本山 実姫 さん

令和4年3月卒 ●福岡県立門司学園高等学校出身

私は現在門司松ヶ江病院で働いています。今年度から病棟異動があり、現在は認知症治療病棟を担当しています。認知症といっても患者様によって症状や性格・趣味・家庭環境が異なるため、ひとりひとりが充実した日々を送ることができるよう、リハビリテーション課だけでなく他職種とも連携して患者様の支援を行っています。



長い間コロナ禍でご家族様との面会や病院行事が制限されていましたが、今年度より行事が再開し、四月には開院祭が行われました。各病棟の出し物では音楽に合わせた体操を発表し「楽しかったよ、ありがとう。」と患者様から声をかけていただく事ができました。日々の業務でも患者様との関わりで笑顔を引き出す事が出来た時、やりがいを感じています。

まだまだ不慣れなことが多いですが、周囲の先輩方にサポートしてもらいながら業務に励んでいます。

四年間の大学生活では勉強や実習、国家試験など大変な事が沢山ありましたが、かけがえのない友人たちと出会えた事が一番の思い出です。勉強だけでなく、遊びやアルバイトなど充実した大学生活を送ってください。

患者様の主体的な生活の再獲得を目指して

特定医療法人社団 春日会 黒木記念病院 勤務

岩田 彩菜 さん

令和4年3月卒 ●大分県立別府鶴見丘高等学校出身

当院では急性期、回復期病棟、地域包括ケア病棟、通所リハビリ、訪問リハビリを通して地域に密着した医療を提供しています。

私は現在、回復期リハビリテーション病棟に勤めており、圧迫骨折や大腿骨骨折を中心とした整形疾患や脳卒中、廃用症候群の患者様を担当させていただいています。作業療法は患者様の心身機能、活動、参加全てに関わる包括的なアプローチが必要であり、病期や患者様の性格、生活歴、患者様を取り巻く環境などにより、アプローチする比重を考えなければいけない難しさを感じています。一方で、ADLが向上し退院後の生活について前向きな発言が出てきたときにはとてもやりがいを感じます。今後も他スタッフと連携を図りながら、適切なリハビリが提供できるように心がけていきたいと思っています。また、今年から当院では自助具などの作成を目的とした3Dプリンタを導入しました。今後、研修への参加や試作品の作成を通して患者様がよりよい生活を送れるよう経験を深めていきたいと思っています。

大学生活ではたくさんの楽しさ、大変さを経験することと思います。どの経験も将来に役立つと思います。皆さんも充実した大学生活を送れるよう心より願っております。



食物栄養学部

就職指導課長 松成 翔

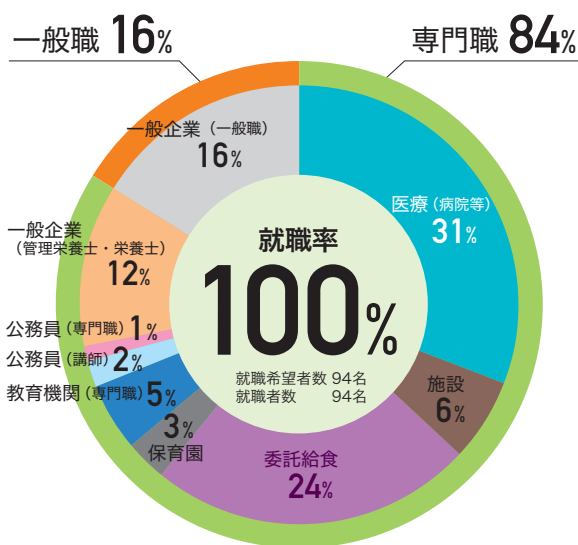
本年度、就職を希望する卒業生全員が入学後の進路を勝ち取ることができました。例年同様に医療機関や福祉施設、委託給食事業者などを筆頭に、専門性を発揮できる業種が進路に選択されています。また、難関とされる公務員試験においても、専門職で合格者を輩出することができました。これらの実績は、卒業生各自が学業と就職活動の両立に向けて懸命に取り組んだことに加えて、ゼミ担当やクラス担任の先生方と就職指導課との教職協働が機能した結果であると考えています。

本学の教職員は、学生一人ひとりと将来についての悩みや相談に真摯に向き合っています。また、就職指導課では多様化する学生からの要望に対応すべく、年間を通じてオリエンテーションやキャリアガイダンス、学内個別企業説明会など就職支援に係る様々なイベントの企画・運営に従事するほか、ICTを活用した情報発信の最適化にも取り組んでいます。併せて個別の学生相談にも柔軟に対応し、本人の希望や個性の把握にも努め、公平かつ有益な支援が提供できる体制を整えています。

本学の建学の精神、「筑紫の心」にある勇氣・親和・愛・知性を涵養する人格教育を経験した卒業生諸君が、変化の激しい時代の中でも課せられた職責と誠実に向き合い、そして専門性を活かし地域社会に必要とされる人材となってくれることを願っています。

食物栄養学科

公務員	専門職	朝倉市職員(栄養士)
	講師	講師(福岡市立愛宕小学校)、講師(苅田町立南原小学校)
医療機関・一般企業	専門職	(独)国立病院機構 九州グループ、(独)労働者健康安全機構 山口労災病院、(地独)北九州市立病院機構、(一財)福岡県社会保険医療協会 社会保険田川病院、(一社)朝倉医師会 朝倉医師会病院、(社医財)池友会 福岡新水巻病院、(社医財)白十字会 白十字病院、(国大)山口大学医学部附属病院、(学)産業医科大学 産業医科大学病院、(医)ふらて会 介護老人保健施設やすらぎ、(医)八幡西病院、(医)森和会 行橋中央病院、(医)井上会 篠栗病院、(医社)高邦会(福岡山王病院・高木病院 他)、(医社)松和会 門司松ヶ江病院、(社医)北九州病院、(社医)陽明会 小波瀬病院、(社福)恩賜財団済生会支部 福岡県済生会大牟田病院、(医)泰進会 晴海歯科・矯正歯科、(医)なかお歯科 北九州セントラル歯科 小児歯科矯正歯科、(医)博道会 香椎照葉こどもとママの歯科医院、(医)優品会 いそわき歯科、(医社)隆盛会 たかしデンタルクリニック、(医)緑山会 下松中央医療介護支援センター、(医社・社福)青藍会 ハートホーム山口、(社福)沖繩にじの会 特別養護老人ホーム ゆがふ苑、(社福)嘉穂の里(さくら学園・第2さくら学園 他)、(社福)城西福祉会 特別養護老人ホームオアシスケア城西、(社福)戸上福祉会 大川保育園、(社福)ルピナス 岡垣中央台ほいくえん、(社福)厚生館福祉会 鳥山翼保育園、一富士フードサービス(株)、エムサービス(株)、シダックス(株)、ナリコグループ、日清医療食品(株)、(株)メフォス、(株)LEOC、(学)東筑紫学園 九州栄養福祉大学、(学)博多学園 小中一貫校 志明館、(学)鹿児島学園 認定こども園 加治木ゆなの木保育園、(公財)北九州生活科学センター、福岡県立スポーツ科学情報センター(アクション福岡)、(株)レノファ山口、(株)サンキョードラッグ、(株)ドラッグストアモリ、(医)大信薬局
	一般職	あさひ製菓(株)、極東ファディ(株)、(株)サザビリーグ、(株)トライアルカンパニー、(株)ピエトロ、(株)フィネス、(株)ポトデリカトオカツ、(株)ユーハイム、(株)リョーユーパン、(株)夢真ホールディングス、(株)MHホールディングス、(有)楽天地、筑後信用金庫、(株)東洋信号通信社



支援スケジュール(食物栄養学部)

4月	●就職オリエンテーション/3年(SPI・GET検査) /3・4年(就職支援内容・スタッフの紹介、就職活動の進め方、自己分析方法、履歴書の作成についてなど)
5月	●就職対策特別講座/2・3・4年(外部講師などによる筆記・SPI(適性検査)・面接の対策講座) ●マナー講座/4年(外部講師による特別講座)
7月	●マナー講座/3年(外部講師による特別講座)
9月	●学内就職説明会/小倉南区キャンパス・4年(医療機関・施設・企業の採用担当者などによる就職先情報の収集など)
10月	●公務員試験対策講座/3年、10月頃～翌年3月(外部講師による公務員受験指導などの対策講座)※例：外部講師によるライブ配信とアーカイブ視聴のハイブリッド型
1月	●就職ガイダンス/3年(就職活動を終えた4年生から就職活動のスケジュールや対策方法、在学生に向けたアドバイス・メッセージなど)

※小倉北区キャンパスでは、年間を通じて企業・各種法人からの要請に応じた「個別説明会」を開催しています。

※略称表記について

(独)=独立行政法人、(地独)=地方独立行政法人、(国大)=国立大学法人、(学)=学校法人、(医)=医療法人、(医社)=医療法人社団、(社医)=社会医療法人、(社福)=社会福祉法人、(社医財)=社会医療法人財団、(公財)=公益財団法人、(一財)=一般財団法人、(一社)=一般社団法人、(株)=株式会社、(有)=有限会社

リハビリテーション学部

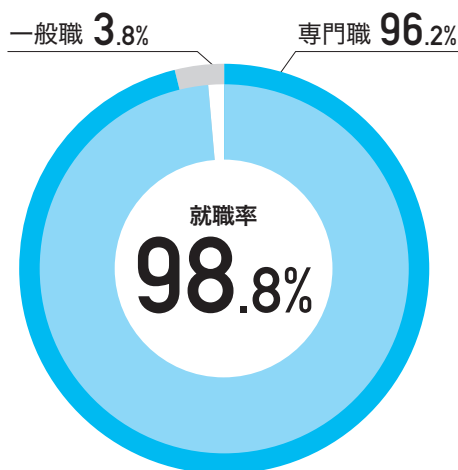
就職指導室長 室井 廣 大

令和6年度の就職状況は、理学療法学科98.8%（80名中79名）、作業療法学科97.1%（35名中34名）でした。この高い就職率は、自身のキャリアの第一歩として就職活動に真摯に取り組んだ第11期生の努力の結果です。就職指導を通じて、就職先検討で悩む学生や、自己PRの言語化に苦しむ学生、面接練習を通してうまく表現することができずに歯がゆさを感じる学生など、様々な躓きの場面に接してきました。そうした就職活動を経て自身の強みや自分の可能性、職業観やこれからのキャリアを考え成長していく姿に頼もしさを感じました。もちろんこれまで実習指導や講義、演習などで本学の教育にご尽力いただいている病院、施設様からの温かい就職支援は言うまでもありません。

就職エリアを見てみると、昨年よりも福岡県内への就職、特に北九州市内への就職が増加しました。学部全体では、約半数の方が北九州市内に就職しています。在学中に育てていただいた北九州地域に学生たちが就職し貢献していくことは地域の医療専門大学としての役割を十分に果たせているのではないのでしょうか。一方で、全国各地からいただく採用ニーズにお応えできていないというところは悩ましい課題でもあります。また、一般職として公務員への就職や大学院進学（2名）など学生の進路の多様化も近年の特徴であり、「理学療法士、作業療法士の可能性」とも捉えることができます。

変化の激しい時代といいますが、人への想いや、医療人としての倫理観は変わらないものがあります。最も長い歴史を持つ養成校としてこれまで脈々と繋がっているリハビリテーションマインドを今後も就職支援、学生教育を通じて教職員一丸で伝えて参ります。

理学療法学科

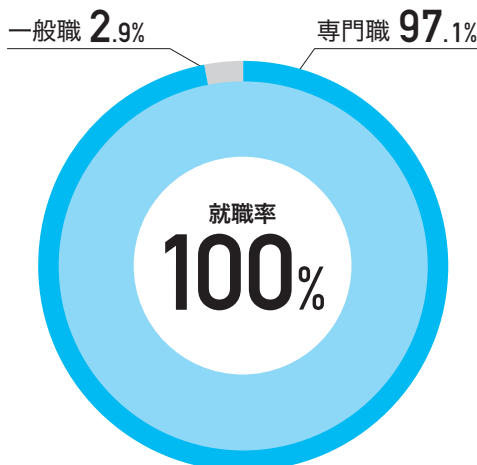


【令和7年3月卒業生実績】

就職活動状況(2025年3月卒業生アンケートより)

- *第1希望内定率
理学療法学科：88.2% 作業療法学科：92.6%
- *受験1社目内定率
両学科共通：70.7%（平均受験社（病院・施設）数：1.3社）
- *福岡県内就職率
理学療法学科：74.7% 作業療法学科：82.4%
- *北九州市内就職率
理学療法学科：43.0% 作業療法学科：61.8%

作業療法学科



【令和7年3月卒業生実績】

公務員	山口県防府市役所、下関市立市民病院
医療機関・一般企業	【関東エリア】 鎮誠会 【関西エリア】 佐野記念病院、運動器ケアしまだ病院、国立病院機構大阪南医療センター 【中国・四国エリア】 脳神経筋センターよしみず病院、マッターホルンリハビリテーション病院、山口リハビリテーション病院、下関市立市民病院、宇部興産中央病院 【福岡県内】 北九州病院グループ（北九州安部山公園病院、北九州八幡東病院、北九州総合病院、北九州中央病院）、北九州市立八幡病院、東筑病院、正和なみき病院、小倉リハビリテーション病院、三萩野病院、健和会、原病院、済生会八幡総合病院、芳野病院、九州鉄道記念病院、福岡みらい病院、飯塚記念病院、小橋病院、宮田病院、北九州市立総合療育センター、しらにた整形外科クリニック、門司松ヶ江病院、産業医科大学病院、大川病院、宗像水光会総合病院、しもね整形外科骨粗しょう症クリニック、東和病院、新栄会病院、行橋記念病院、おかがき病院、貝塚病院、長尾病院、飯塚病院、南川整形外科病院、久留米リハビリテーション病院、穂波整形外科、済生会飯塚嘉徳病院、田中整形外科、浅木病院、聖ヨゼフ園、久山療育園、北九州市立門司病院、戸畑リハビリテーション病院、萩原中央病院、小波瀬病院、医療法人社団桜会 【九州エリア】 佐藤第一病院、村上記念病院、大分整形外科病院、川島整形外科病院、和田病院、中津脳神経外科病院、大分中村病院、百武整形外科・スポーツクリニック、JCHO九州ブロック（宮崎江南病院）、浦添総合病院、南部徳洲会病院
	一般職 芳野病院（介護職）、Happy Crayon（放課後デイサービス）、介護老人保健施設ピア・ハート（事務職）
進学	広島大学大学院 医系科学研究科

栄養・福祉、そして教育へ ～ことども教育学部新設のご挨拶～



脇田 哲郎
WAKITA TETSURO
ことども教育学部長
ことども教育学学科長

感謝申し上げます。

今日の社会は、かつてないスピードで変化し、子どもたちの育ちを支える環境も多様化、複雑化しています。そのような時代だからこそ、子どもたちが将来に希望を持ち、心豊かに健やかに成長していくための確かな支援が

新しい時代を逞しく生き抜く知識、技能を身に付けた子どもを育てる先生（知性）の育成を目指すものであります。このような先生を育成するため、本学部・本学科の教員は「筑紫の心」で学生を育てて参ります。

本学部、本学科の名称は「子供教育学部」でもなければ「子ども教育学部」でもなく「ことども教育学部ことども教育学科」であり、全ての「ことども」を対象に研究し理解することによって進んでいます。全ての「ことども」とは幼稚園や保育園で学ぶ幼児、小学校で学ぶ児童、そして、障害のある子どもです。また、外国ルーツの子どもや性的マイノリティの子ども、不登校の子どもなど様々な状況の中で懸命に生きていく子どもたちです。そのような子どもたちが、これからの時代をよりよく生きるためには、どのような資質・能力を育成すればいいのでしょうか。教師としてどのように関わればいいのか。学校や園はどうあるべきなのでしょう。このような「問い」を主体的にもち、自ら進んで学修する学生の育成を目指します。

とを伝えました。一つは「学修や実習に常に「問い」をもつて臨む主体的な学生であってほしい。」ということ。二つ目は「仲間を大切にし、相互に支え合って夢を実現する学生であってほしい。」ということです。そして、三つ目は「自分を支えてくれる保護者や教員、様々な方々へ深い愛情を注げる学生であってほしい。」ということです。最後に、四つ目として「将来、出会う子どもたちを幸せにするための知識や技能を身に付けた学生であってほしい。」ということです。このような学生が、地域社会の皆様と共に、子どもたちの笑顔あふれる未来を創造していくと考えております。栄養・福祉・教育の知見を統合した本学ならではの学びが、必ずや地域の子育て支援や学校教育の質の向上に貢献できるものと確信しております。皆様におかれましても、本学部、そして学生たちの活動にご注目いただき、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではございますが、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

令和7年4月から九州栄養福祉大学に「ことども教育学部ことども教育学科（以下、本学部・本学科）」が設置され、新入生25名を迎える運びとなりました。このことを謹んで報告申し上げます。本学部・本学科の開設にあたり、この度、学部長学科長を拝命いたしました脇田哲郎でございます。歴史と伝統ある本学の新たな学部としてスタートするという重責に身の引き締まる思いではございますが、子どもたちの未来を拓く小学校、特別支援学校、幼稚園、保育所、認定こども園の教員を目指す学生の育成に携わることができ喜びを噛み締めております。これもひとえに、新学部・新学科設置準備室長の室井廣一学長先生をはじめ、学内外の多くの皆様からのご支援、ご協力の賜物と心より

不可欠です。本学はこれまで、栄養とリハビリテーション、保育の分野で多くの専門家を育成し、地域社会に貢献して参りました。そして今、子どもたちの成長には、栄養、健康、福祉、そして教育が密接に関わり合っているとの確信のもと、これらの知見を統合した新たな「ことども教育」の必要性を強く感じております。

本学部・本学科は、建学の精神「筑紫の心」「勇氣、親和、愛、知性」に基づく教育を、先生になることを目指す学生一人一人に行い、何事にも好奇心を持つて主体的に取り組む子どもを育てる先生（勇氣）、友達と協力してより良い社会を創ろうとする子どもを育てる先生（親和）、ことども一人一人の個性や可能性を信じ、深い慈しみの心で子どもを育てる先生（愛）、

このようなことを踏まえ、本年度の入学式には「ことども教育学部の学生に期待すること。」として、四つのこ

こども教育学部 学びのポイント

幼児教育から小学校教育への円滑な接続について学びます

昭和29年より70年間、約1万3000を超える卒業生を輩出してきた東筑紫短期大学保育科の幼児教育に関する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとして、小学校での教育内容や教育方法についての研究を深めます。

幼児教育
early education

初等教育
特別支援教育

食育
nutritional
education

データ
サイエンス
data
science

児童の成長に欠かせない「食育」について学びます

毎年、数多くの栄養士、管理栄養士を輩出してきた九州栄養福祉大学食物栄養学部や東筑紫短期大学食物栄養学科には、健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む「食育」に関する豊富なデータがあります。それらを基に、こども達の食に関する指導や学校給食について学びを深めます。

デジタル学習基盤の効果的な活用について学びます

令和7年度4月に開設する九州栄養福祉大学食物栄養学部食環境データサイエンス学科から、一人一台端末の時代に「デジタルの力でリアルな学びを支える」教師に必要な知識、技能について学ぶことができます。

こいのぼり交流会



地域の小学校・幼稚園・保育所と



現在求められている特別支援学校や特別支援学級に対応する、インクルーシブな教育の学びを実施

特別支援教育を受ける児童生徒数の増加に対して特に不足している特別支援学校教諭を育成するために、その効果が実証されイギリスのオックスフォード大学でも発表された「ボディパーカッション®教育」などを取り入れ、最先端の学びを修得します。また本学では、「認定ボディパーカッション教育指導者」資格を取得することも可能です。

授業風景【キャリア研究Ⅰ】

地域の伝統行事「小倉祇園太鼓」をテーマに地域社会との連携について深く探求します

【取得目標免許・資格】

- 小学校教諭一種免許状
- 特別支援学校教諭一種免許状
- 幼稚園教諭一種免許状
- 保育士資格



5つのグループに分かれ、小倉祇園太鼓について調べました



木町地域保存会の方にプレゼンテーションの講評をいただきました

有意義な二年間の保育の道



寺本 普見子
TERAMOTO FUMIKO
保育学科長

本学保育学科は、今年度八十四名の新生を迎えました。これから短大生活を迎える学生は高校時代と全く異なる環境の下で二年間という短い期間に保育者になるために学業に励むこととなります。卒業し、社会に必要とされる保育者として活躍する人材を養成しているのが本学です。学校教育法に記載されているように「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」。幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。」とあります。

乳幼児期の教育や保育において「二十一世紀型能力」を育んでいくためには、家庭と共に協力しあい取り組んでいくことが肝要になります。そして幼児期の架け橋カリキュラムの開発が実施されています。それは、子どもが主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指すものです。そのような学びを行っている保育学科の特徴を掲げます。

第一の特徴は、建学の精神である「筑紫の心」です。「勇気・親和・愛・知性」を基本とした人格教育を行っています。

第二の特徴は、幼稚園教諭二種免許保育士資格をはじめ、認定ベビーシッター、レクリエーション・インストラクター、こども音楽療育士等の多くの資格取得です。今まで地域から信頼され、築き上げてきた本学科の先輩方の歴史と伝統。この歴史と伝統を受け継ぎ、幼稚園、保育所、児童養護施設等子どもと関わる仕事に就職希望する昨年度の卒業生は、全員就職できました。これからの社会に貢献できる保育者を多く養成したいと教職員一同願っております。そのために全力でサポートしていきます。

第三の特徴は、学園キャンパス内に、認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園が隣接しています。子どもといつでも関わられます。教科によっては附属幼稚園の講義室で授業を受け、園庭で遊んでいる子どもと触れ合い、大学だけでは学ぶことのできない保育実践を行っています。

少子化と、保育者不足の昨今、令和の時代を担う子どもたちの教育に携わる保育者の役割は大きいのです。多くの課題がある保育の道ですが、全教職員と、その課題に向かい合い保育の質の向上へ、意欲をもって共に努力していきましょう。

夢は社会に必要とされる専門性豊かな保育者 憧れの「幼稚園教諭」や「保育士」に…

本学科はこれからのニーズに合った社会に必要とされる保育者を養成する学科です。その夢を叶えるために、建学の精神「筑紫の心」を基本にしながら、いくつかの特色を構築しています。その一つとして、キャンパス内にある附属幼稚園との連携を深めて、1年次から観察実習や附属幼稚園での「環境」等の授業を実施しています。また、保育者としての学生の資質向上や専門性を深めるために、学生が自主的に地域の保育現場に出かける取り組みを行っています。さらに、実習前の学生の不安を少しでも解消するために、教材研究や指導案の作成など、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導を行っています。

幼稚園や保育所(園)、施設での実習を体験した学生は、「無邪気な笑顔がかわいい」「実習を通して学ぶことが多かった」「早く保育者になりたい!!」など、保育者としてのやりがいを感じ意欲を高めています。

専攻科(1年間)で学び介護福祉士も取得

本学には、保育士資格に重ねて、1年間で介護福祉士資格(国家資格)取得を目指す養成課程「専攻科(介護福祉専攻)」のコースが設置されています。保育学科と専攻科の3年間を通して養われる広い視野と対人援助の知識・技術・職業意識は、様々な課題が山積する現在の少子高齢社会において求められる専門性です。保育学科での学びを根幹に、人の尊厳を支える倫理観や医療的ケア・介護技術の実践力は地域社会から高い評価を得ており、卒業生は、保育、障害児・者支援や高齢者ケアの広い分野で活躍しています。両分野の強みを多方面で活かし、将来、転職やキャリアアップにも有利となることでしょう。

専攻科 ▶ P24

令和7年3月卒業生

保育学科 免許・資格取得者数 卒業生 113名

- 幼稚園教諭二種免許状 …………… 取得者数 **109名**
(取得率96.5%)
- 保育士資格 …………… 取得者数 **113名**
(取得率100%)
- レクリエーション・インストラクター資格 … 取得者数 **3名**
- 認定ベビーシッター資格 …………… 取得者数 **34名**
- こども音楽療育士資格 …………… 取得者数 **11名**

[Message] 卒業生の声

子どもたちとの生活

児童養護施設 門司ヶ関学園 勤務

藤井 夕萌 さん

令和5年3月卒 ●福岡県立小倉南高等学校出身

東筑紫短期大学保育学科を卒業して2年が経ちました。私は幼少期から子どもと関わる仕事がおもっており、本学に入学しました。短大生活を振り返ると、楽しいこともたくさんありましたが、「きつい」「つらい」と思うこともたくさんありました。授業や実習に追われる毎日。そんな日々を乗り越えられたのも、苦楽を共にした友人や、私達のことを熱く思ってくれる先生方の支えがあったからです。

そんな先生方のおかげで、卒業することができ現在は児童養護施設で働いています。幼児から高校生と幅広い児童が過しています。私は学童の女子グループに所属しています。今年から地域小規模化し、1つの家で5人の子供達と過ごしています。1年目では、子供達とのコミュニケーションの回り方にとっても悩みました。小学生とは一緒に遊んだり、色々な話ができて、中高生とは思春期ということもあり、なかなか距離を縮められなかったり、逆に歳が近いと距離感が近くなりすぎたりすることもありました。他にも、指導をする上でどう伝えるべきかと試行錯誤しながら、子どもと向き合い、先輩の先生方に相談して方法を見つけ、身につけていけるよう努力しました。今でも試行錯誤の毎日です。子ども達が自律した生活を送り、夢や目標を叶えて自立できるようにサポートし、自分自身も成長できるように頑張っていきたいです。



笑顔溢れる保育

学校法人 浅野学園 尾倉幼稚園 勤務

山本 萌乃 さん

令和5年3月卒 ●九州国際大学付属高等学校出身

私は現在、幼稚園教諭として3年目を迎えています。幼い頃からの夢を叶え、この道に進みました。大学では保育の基礎から、様々な遊びや学び、さらに保護者対応や電話対応といった実践的なことまで幅広く学びました。

昨年からの持ち上がりで、今年は年中組の担任をしています。子どもたちのめざましい成長を間近で見守り、彼らと共に自分自身も成長できるこの仕事は、本当に素晴らしいと感じています。保育の仕事には確かに大変な側面もありますが、それ以上に子どもたちの笑顔や成長から得る喜びは何より大きく、毎日がとても楽しいです。これからも子どもたちと笑い合いながら、豊かな日々を過ごしていきたいです。

そして、特に皆さんに伝えたいのは「園見学の大切さ」です。私自身、今の幼稚園には一日見学に行き、園の雰囲気や園長先生の教育方針を肌で感じる事ができました。実際に足を運んだことで、自分に本当に合った園を見つけることができ、そのおかげで充実した毎日を送っています。ぜひ皆さんも積極的に園見学に行き、ご自身にとってベストな園を見つけてください。

これから保育者を目指す方々へ。大変なこともありますが、それ以上に得るものの多い、やりがいのある仕事です。素敵な保育者になれるよう、応援しています！



目標とする免許・資格

- ・幼稚園教諭二種免許状
- ・保育士
- ・レクリエーション・インストラクター
- ・認定ベビーシッター
- ・こども音楽療育士
- ・社会福祉主事任用資格

将来の職場

免許・資格を活かして、幼稚園・保育所(園)の保育者になることや乳児院の保育士や認定ベビーシッターとしての家庭訪問保育も可能です。また、18歳までの子どもたちを援助する児童養護施設や障害児支援施設(かつての知的障害児施設、知的障害児通園施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設等)など多くの福祉施設で入所児・者を支援する仕事を担当することもできます。

幅広い知識を備えた実践的な 栄養士の育成 — 新たな栄養士資格の導入 —



土谷 政代
TSUCHIYA MASAYO
食物栄養学科長

東筑紫短期大学食物栄養学科は、創設70年に及ぶ長い歴史と伝統をもち、北九州唯一の養成短大として実践的な栄養士の育成に努めています。卒業生の多くが栄養士・管理栄養士として病院、福祉施設、教育機関などに勤務し、健康づくりの担い手として活躍しています。

本学科の特色についてご紹介します。まず一つ目に、実験実習を多く取り入れ、実学教育を中心としたカリキュラムを取り入れていること。二つ目に、クラス担任制による学生へのきめ細かな指導を行っており、学生と教員の距離が近いこと。三つ目に、「栄養士免許」だけでなく、学校の教員である「栄養教諭二種免許」や医療関係の「医療秘書実務士資格」、食品の知識を生かした「フードスペシャリスト資格」など多数のライセンスが取得できること。四つ目に、九州栄養福祉大学3年次への

編入制度があること。五つ目に、学費を全額・半額免除する「特待生制度」を導入していることです。

加えて、令和8年度入学生より、新たに「美容栄養学専門士」の資格取得を可能にしました。身体の中からキレイをつくるノウハウをもち、健康づくりの観点から人の美を考える力を養っていくことが出来る栄養士を育成します。

本学科は栄養士としての就職率が全国の短大と比較して高く(約8割)、全体としての就職率も近年連続100%の実績を堅持していますが、「美容栄養学専門士」の資格導入により、栄養士としての就職の幅がさらに広がると考えます。

「食べることは生きること」 毎日の食事で食べたものが栄養となって身体をつくり、人生をつくるといっても過言ではありません。

本学科における特色あるカリキュラムを体系的に進め、学生の皆さんが、栄養士としての実践的な知識や多様な技術を修得するとともに、本学の建学の精神である勇気・親和・愛・知性が調和した「筑紫の心」の豊かな人間性を育み、学生生活において充実した学びができるよう支援してまいります。

小学校や病院などで臨機応変な実践力を

栄養士の免許取得のための実習は小学校での学校給食実習の他に学生自身が自分の将来の就職先を考え、福祉施設や事業所病院などから選択して一週間の実習を体験します。たとえば、病院実習では患者さんの年齢や症状に適した治療食の献立作成や管理栄養士による食事指導の見学など、実践の場での栄養士としての応用力を養います。

栄養と美容の知識をもった人材を育成

国家資格である「栄養士」は献立作成、栄養指導、大量調理が主な仕事であるとイメージされていますが、美容業界でも需要の高い職種だと言えます。「美容栄養学専門士」の資格取得により、栄養と美容の両方の知識から新たな流行やビジネスに携わることができます。このように、プラスαの資格を取得し、目指すべき職業としての幅を更に広げることができます。

目標とする免許・資格

- ・栄養士
- ・栄養教諭二種免許状
- ・医療秘書実務士
- ・フードスペシャリスト
- ・美容栄養学専門士
- ・食品安全検定
- ・日商PC検定(文書作成)

将来の職場

栄養士として、病院や小学校、さらに企業の社員食堂の調理担当、保育所や老人保健施設・特別養護老人ホームでの献立作成など、広範囲な食に関わる職場で能力を発揮することができます。また、病院・医院で医療事務スタッフとしての仕事と栄養管理・栄養指導の役割を兼ねれば、専門職としての高い評価を受けることでしょう。加えて、美容業界での新しい栄養士の役割として「美容サロン」「フィットネスジム」「化粧品販売アドバイザー」など、幅広い分野で活躍することができます。

令和7年3月卒業生

食物栄養学科 免許・資格取得者数

卒業生 69名

- 栄養士免許 取得者数 **66名**
(取得率95.7%)
- 栄養教諭二種免許状 取得者数 **13名**
- 医療秘書実務士 取得者数 **23名**

- フードスペシャリスト資格認定試験 合格者 **8名** / 受験者 8名
- 専門フードスペシャリスト 合格者 **3名**

[Message] 卒業生の声

失敗を恐れず進むために

北九州病院グループ 北九州小倉病院 勤務

野村 朋充 さん

令和6年3月卒 ●東筑紫学園高等学校出身

私は現在、北九州小倉病院で栄養士として働いています。主な業務内容は、患者様の病状に合わせた食事づくりです。北九州小倉病院は北九州病院グループの中では、病床数こそ少ないですがグループで唯一人間ドックを行っており、何度も試作を重ね季節を感じるドック食を提供しています。患者様の食事は、形、粗、ケア、移行、ペーストといった形態で分かれており、さらに糖尿病や高血圧などの治療食やアレルギーなどの個別対応を行っています。喫食時間二時間前以内に調理、盛り付け、配膳を完了しなければなりません。

在学中に学んだ腎臓食のたんぱく質制限や糖尿病の糖質制限は今でも調理をする際に役立っています。腎臓食は肉の部位を変えたり、ご飯をゆめごはんというたんぱく質が大幅に制限されたご飯に置き換えています。糖尿病食は、砂糖を低カロリー甘味料のマービーに置き換えデザートやちらし寿司を作っています。

実際に入職して、時間内に作業が終わらなかったり、調理ミスをしてしまったりと初めての献立ばかりで不安な毎日でしたが、職場の方々に助けてもらって頑張ってきました。慣れない新しい業務をする際も、忙しい中で私の作業に気を配って頂き、アドバイスやご指導をいただきました。失敗は怖く、自身で解決しなければと思っていましたが、頼ってほしいという職場の方々の思いを知り些細なことでも前もって助言を求めに行くようになり、今はたくさん質問するように心掛けています。

私は、管理栄養士としてキャリアアップできるよう日々全力で業務に取り組んでいます。社会に貢献できる栄養士になれるように一緒に頑張りましょう。



笑顔を拓く学び

山口県長門市立日置中学校 勤務

佐藤 百華 さん

令和6年3月卒 ●山口県立下関北高等学校出身

私は現在、山口県長門市にある中学校で栄養教諭として働いており、学校給食の献立作成や衛生管理などの給食管理と、学級活動や給食の時間に食育の授業を行っています。長門市の学校給食はセンター方式のため、市内にある他の学校にも学期に一度は訪問し、給食指導や授業を行う巡回指導を行っています。その際に関わった子どもたちが、笑顔で「給食美味しかったよ!」と声をかけてくれるのがとても嬉しく、やりがいを感じることができます。

食物栄養学科の魅力は、実習・実験が多く幅広い分野を学べるカリキュラムとなっているところです。座学だけでなく、実際に体を動かして体験的に学ぶ機会が豊富なので、知識だけでなく実践力も自然と身につきます。この学科で学んだ経験と幅広い知識、積極性は、仕事をする上で私の自信となり、生活の糧にもなっています。また、先生との距離が近く、学生生活や就職活動など、先生方が親身になってサポートしてくれます。私も様々なことに挑戦し、日々成長を感じられる2年間で過ごすことができました。

この学科での学びは皆さんの未来を切り拓く力になるはずです。皆さんも是非この学科でたくさんの経験を積み、自分らしい道を見つけてください。



専攻科（介護福祉専攻）の豊かな学びを実感



寺本 普見子
TERAMOTO FUMIKO
専攻科（介護福祉専攻）長

本学は、少子高齢社会の課題を見据え、保育士と介護福祉士の両資格を有する人材育成を志向し、2002年に専攻科（介護福祉専攻）を設置しました。保育士資格取得者が、一年間で、介護福祉士の資格を取得することがねらいです。

専攻科設置から23年、社会状況は刻々と変化を遂げています。高齢化率が29%を超える一方で子どもの数は減少の一途をたどり、令和5年の出生数が約72万であったことは大きな話題となりました。要介護の高齢者や障害者、医療的なケアが必要な子どもたちは増加し、そのニーズは多様かつ複雑化しています。他方、新たな潮流として、革新的な情報技術の発達私たちの生活を劇的に変えつつあります。介護福祉の現場においても、AIを活用した福祉用具やICT化されたシステムへの導入が促進されています。この間、介護福祉士の養成課程では、二度のカリキュラム改正がありました。介護職における中核的機能や地域の役割が明示され、リスクマネジメント力や災害対策の判断力を含む、高い知識と技術、専門職意識が必要

とされるようになりました。

このような時代の要請に即して、専攻科では柔軟な教育活動に尽力しています。様々なニーズに対応する力を養う学外研修をはじめ、視野を広げる授業の導入等、新しい学びを届ける教育活動を重視。また、他大学との研究発表や多世代との交流活動を通して社会性や貢献意識を育んでいます。少人数制の利点を存分に活かして、学生支援や就職活動、国家試験対策について手厚くサポートし、介護実習施設との連携では現場に即した実習指導も実現しています。本科に進学した学生は、いろいろな立場を理解できる幼稚園教諭、保育士に、また、音楽活動やレクリエーション企画ができる介護福祉士へと、裾野の広い人材に育っていきます。

1年間という短い時間のなかで、学生たちは温かい人の心を学びながら、自分たちの人生経験を越えた状況下の支援策について、悩み、考えながら「支える人」に成長します。この成長は、保育学科と専攻科の「3年間の学びのかたち」ではないでしょうか。保育学科の乳幼児の学びに続く、その先の人生を支えていく介護福祉の学びは、学生たちの年齢を優に超えて、想像と創造の連続です。そのプロセスのなかで、個々の潜在力が引き出されていることを実感しています。専攻科の1年間は豊かな成長ができる魅力にあふれています。皆さん、ぜひ一緒に、有意義な学生生活を送りませんか。

【専攻科（介護福祉専攻）出願資格】

- ・保育士資格を取得している方
- ・2026年（3月）までに保育士資格を取得見込みの方

目標とする免許・資格

- ・介護福祉士
- ・福祉住環境コーディネーター 2級・3級
（当検定試験のための対策授業があります）

将来の職場

- ・介護保険施設
- ・グループホーム、居宅サービス、病院
- ・障がい者（児）支援施設
- ・保育所、児童福祉施設
- ・幼稚園 など

第37回 介護福祉士国家試験

本学合格率

100%

13名合格／13名受験
全国合格率平均 78.3%

[Message] 卒業生の声

介護の知識を活かした保育

社会福祉法人 専城会 専城乳児保育園 勤務

大田 清楓 さん

令和6年3月卒 ●福岡県立門司大翔館高等学校出身

私は、社会福祉法人専城会専城乳児保育園で働いています。現在は、0歳児クラスを担当していて子ども達や先生方から沢山の学びがあり、充実した毎日を送っています。

実際に保育園で働くなかで保育と介護は共通点が多い職業だと実感しています。専攻科で様々なコミュニケーション方法やレクリエーションを学び、介護の実習では利用者の方の気持ちを尊重することを特に心掛けていました。保育園で働いている現在も専攻科での経験を活かし、子ども達の気持ちを考えて言葉かけをしたり、介助をしたりするように心掛けています。また、専攻科では高齢者への介護技術だけではなく、子どもの障害や病気などについても学ぶことができます。障害や病気の知識があることで、保護者の方にも安心してもらえることが強みだと思っています。

就職した当初は、分からないことだらけで不安ばかりの毎日でしたが、優しく指導して下さる先輩方に支えられて楽しく働くことができています。専攻科で学んだことや実習での経験全てが現在にとっても役に立っていると感じており、専攻科に進学して本当によかったと思っています。これからも様々な経験をさせてもらえる環境に感謝し、子ども一人ひとりに寄り添う保育を実践できるよう努力していきたいと思っています。



ご利用者の笑顔がやりがいに

(株)プロデュース グループホームきらめき本城 勤務

古賀 彩香 さん

令和6年3月卒 ●福岡県立八幡中央高等学校出身

私は専攻科を卒業後、介護福祉士として(株)プロデュース グループホームきらめきで認知症の方の生活を支援しています。ご利用者様のなかには、ご自身のお気持ちやしたいことを言葉にすることが難しい方もおられるため、どうすれば一人ひとりの思いを汲み取ることができるのか、試行錯誤の日々を送っています。そのような毎日のなかで、喜んでいただけるケアを考え実践した際に、「ありがとう」と笑顔で言って頂けた時は、言葉がなくても気持ちが通じたように感じ、とても嬉しくなります。もっと頑張りたいと、やりがいを感じる日々です。

また、日常生活のケアに加え、季節の行事やレクリエーションを一緒に行う際に見られるご利用者様の笑顔も私の励みになっています。ご利用者様それぞれに合った活動内容を考えることはとても難しいのですが、保育学科で学んだ知識と実践力が大変役立っています。

専攻科はクラスの人数が少なく、先生との距離も近いと、質問や相談がしやすい環境でした。講義や実技演習や実習だけでなく、授業中に介護現場での経験談なども、たくさん話して下さいましたのでとても勉強になりました。卒業後も勤務先でのことなど、在学中と変わらずいつも、親身になって相談にのって下さいます。

職業選択の幅が大きく広がる2つの資格

保育士資格をお持ちの方は、1年間で介護福祉士の国家資格取得を目指すことができます。児童福祉分野の専門性に加えて、高齢者や障がい者の介護福祉を学ぶことにより、幅広く職種を選択することができます。社会に求められる二つの国家資格は、将来長く多方面で活かされ、転職や自分の可能性を広げることができます。

いま求められている介護福祉の専門家たち

高齢者や障害者、子どもたちを取り巻く環境には様々な課題があります。

本科は、子どもの育成と高齢者・障害者福祉の課題に貢献できる保育士資格を持つ介護福祉士を育成しています。本学は、保育学科の伝統を踏まえ、専攻科(介護福祉専攻)を設置しています。社会情勢の変化により、介護福祉士を取り巻く環境は変化し、保育の現場や在宅においても障がい児への支援が求められています。講義や演習、実習、学外研修等を通して、その人らしさを支える豊かな人間性を備えた保育士と介護福祉士の専門家を育てています。将来、子どもから高齢者の笑顔を支え、地域社会へ貢献できる人材として活躍していくことができます。

就職指導課長 松成 翔

本学では、設置する各学科・専攻科の特性を活かしながら専門性の習熟だけにとどまらない、建学の精神である「筑紫の心」にある勇気・親和・愛・知性の四領域の調和・統合を目標とした人格教育にも取り組んでいます。

本年度においても希望する全ての卒業生が就職という進路に到達することができました。これらは卒業生一人ひとりの努力の結果であると同時に、各クラス担任の先生方と就職指導課が緊密に連携するなど、教職員が一丸となって支援する教職協働の成果であるとも認識しています。

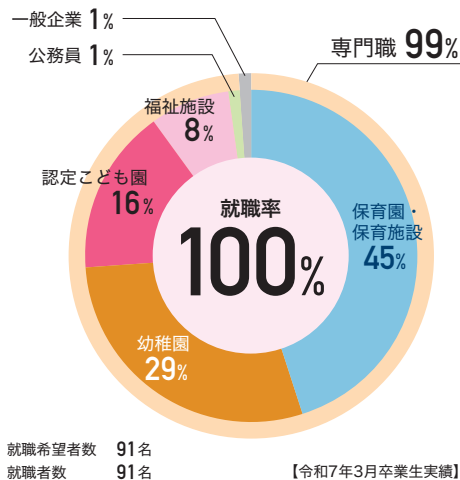
また、就職指導課では多様化する学生からの要望に対応すべく、年間を通じてオリエンテーションやキャリアガイダンス、学内個別企業説明会など就職支援に係る様々なイベントの企画・運営に従事するとともにICTを活用した情報発信の最適化にも取り組んでいます。併せて個別の学生相談にも柔軟に対応し、本人の希望や個性の把握にも努め、公平かつ有益な支援が提供できる体制を整えています。

変化の激しい時代の中でも、卒業生諸君が本学で学んだ専門知識と豊かな人間性を発揮し地域社会から必要とされる人材へと飛躍してくれることを願っています。

保育学科

全国的な少子化の中、専門職の強みを大いに発揮し高い就職率を上げることができました。これも偏に本学の教育にご理解を頂き、採用して頂いた保育園、幼稚園、施設、企業の皆様のお蔭と弁え、ますます教育に力を入れていきたいと考えています。また、卒業生が様々な職場で活躍してくれていることも、この結果に繋がっていることを理解し感謝致しております。こうした要因のある中、学生一人ひとりの地道な努力と本年の卒業生が本学で学んだ専門知識・技術や経験を十分発揮し、社会貢献してくれることを切に祈っております。

公務員	築上町職員(会計年度任用職員)※保育士(築城保育所)
医療機関・一般企業	(学)東筑紫学園 認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園、(学)あおば学園 認定こども園 あおば幼稚園、(学)川江学園 認定こども園 お宮の里幼稚園、(学)北部学園 幼保連携型認定こども園 ほくぶ幼稚園、(社福)和泉会(認定こども園 コスモス・ときいる 他)、(社福)江松会 認定こども園 花園保育園、(社福)慈恵会 ほほえみこども園、(社福)杉の実福祉会 認定こども園 杉の実保育園、(社福)長浜会 認定こども園 長浜保育園、(社福)二葉会 砂山こども園、(社福)みそら会 みそらこども園、(社福)わおん会 認定こども園 いちごいちえん、(学)浅野学園 尾倉幼稚園、(学)育徳学園 フレンズ幼稚園、(学)円通学園 森林幼稚園、(学)斧山学園 穂波幼稚園、(学)黒木学園 徳力団地幼稚園、(学)恵光学園 くさみ幼稚園、(学)光寿学園 百道ベビーガーデン保育園、(学)浄暁学園 あかつき幼稚園、(学)真観学園 霧ヶ丘幼稚園、(学)真観学園 下上津役幼稚園、(学)ぜんりょう学園 でんき幼稚園、(学)高城学園 刈田みどり幼稚園、(学)田原学園 浜町幼稚園、(学)徳力学園 山の手学院幼稚園、(学)成松学園 成松幼稚園、(学)仁科学園 天心幼稚園、(学)豊国学園 小倉瞳幼稚園、(学)ひかり学園 曾根ひかり幼稚園、(学)むつみ学園 むつみ幼稚園、(学)村端学園 志井幼稚園、(社福)北九州市福祉事業団(到津保育所、若園保育所、永犬丸保育所)、(社福)北九州市保育事業協会(北方保育所)、(社福)北九州市小倉社会事業協会(城野保育園、三萩野保育園)、(社福)北九州市門司民生事業協会(古城・藤松・NINARUふじまつ保育園、清滝保育園 他)、(公財)北九州YMCA、(財)鉄道弘済会 戸畑保育所(わかば園)、(社福)いずみ保育園、(社福)いわき福祉会(さんろくこども園・てんらいじ保育園・はつね保育園 他)、(社福)きずな のあ保育園、(社福)葛原会 葛原保育園、(社福)薫風会 ICHIGO、(社福)宏隆会 日豊保育園、(社福)正善寺福祉会 神岳保育園、(社福)真照会 則松保育園、(社福)清琴福祉会 花かご保育園、(社福)筑風会(あけぼの保育園・福浜保育園)、(社福)頓野児童福祉会(ポッポ保育園・下境保育園・福智中央保育園 他)、(社福)日昇会 浅川保育園、(社福)豊徳会(みろく園・第二みろく園 他)、(社福)鳳雲会 金田保育園、(社福)宝林会 宇島保育園、(社福)穂波学園(まどか園・穂波学園・笠置寮・れいんぼう 他)、(社福)めぐみ会 到津乳児保育園、(社福)ゆうこう会 慶興保育園、(社福)緑和会(Kids House Kokuwa 他)、(株)紬〜つむぎ〜 紬木保育園、(株)ポピンズ、(株)LITALICO、託児所マミー、(一社)ゆうぎ、(株)smile、(株)晴天放課後等デイサービス 星の子、(株)オリオンカンパニー 放課後等デイサービス つばめ、(株)ニチイ学館、(株)ワークワズ(児童発達支援・放課後等デイサービス プロッサムジュニア)、(社福)カトリック社会事業協会 児童養護施設 聖小崎ホーム、(社福)北九州あゆみの会、(社福)中部少年学院、(社福)双葉会 児童養護施設 双葉学園みのり、(社福)鳳雲会 北九州乳児院、(株)MIRAI ミライホーム北九州、大黒天物産(株)
進学	(学)東筑紫学園 東筑紫短期大学 専攻科(介護福祉専攻)



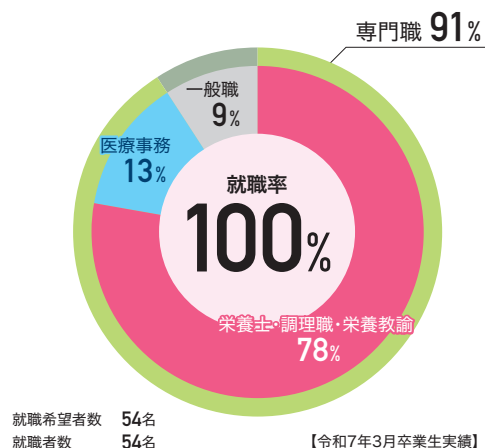
《教育懇談会風景》

食物栄養学科

食について専門性の高い教育を行い、人間にとって重要な食分野で社会的貢献のできる人材の育成に力を入れています。そして社会人になるにあたり、資格を持つということは単に就職という一時点の優位性だけではなく、生涯に及んでその人の人生を豊かで可能性の高いものにしていくと理解できるように教育を行っています。また、自分の将来性の方向をその資格の範囲でしか見ず、針の穴から覗くような、狭い価値観で就職活動することにならないように、就職指導課では支援し、その結果、学生は社会性がありコミュニケーション能力を兼ね備えた人材として多くの内定を勝ち取りました。

医療機関・一般企業

(医)森和会 行橋中央病院、(特医)豊司会 新門司病院、(一社)福岡県社会保険医療協会 社会保険直方病院、(公財)健和会、(社福)いわき福祉会、(社福)恵和会 特別養護老人ホーム 宏和苑、(学)水巻学園 幼保連携型認定こども園 水巻幼稚園、(財)鉄道弘済会 戸畑保育所(わかば園)、(社福)浅沼福祉会 中殿こども園、(社福)和泉会(認定こども園 コスモス・ときいろ 他)、(社福)カリタスの園 天使育児園、(社福)光法会 光法保育園、(社福)清風会 香住ヶ丘保育園、(社福)どっか・すっか 東光保育園、(社福)宏隆会 日豊保育園、(社福)清心会 山鹿保育所、(社福)与原保育園、(株)ドラッグストアモリ、(株)総合人材センター 宮崎支店、(株)ニューオータニ九州、(株)ファボリ スイーツショップファボリブリュ、(株)フジデリカ 福岡工場、(有)銀のすぶーン、田川学校給食センター、日清医療食品(株) 福岡支店、一富士フードサービス(株)、シダックス(株)、葉隠勇進(株)、富士産業(株)、(株)東洋食品、(株)錦、(株)ユニット、スリーマウス(株) 済生会八幡総合病院事業所、児童発達支援 放課後等デイサービス ユニブレkids、(地独)芦屋中央病院、(社医)池友会 福岡新水巻病院、(医)若田整形外科医院、(医)徹滋会 北崎医院、(医)西尾脳神経外科、竹尾耳鼻咽喉科医院、(医)ウェルメディ こくらみなみ眼科、(医)将和会 ケイズ歯科、(株)武田メガネ、(株)スタッフサービス、国際興業(株)(国際興業グループ)、平和技研(株)



進学

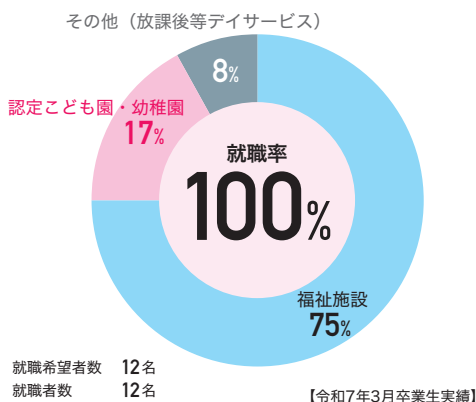
(学)東筑紫学園 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科、(学)福原学園 九州女子大学 家政学部 栄養学科、(学)東亜大学 学園 東亜大学 医療学部 健康栄養学科

専攻科

全員が介護福祉士の資格を取得し、希望の介護福祉関係の職場に就職することができました。
高齢化社会での福祉の担い手として活躍してくれることを楽しみに、今後も地道な教育を行い、福祉の世界で社会的貢献のできる人材を育成して参ります。

医療機関・一般企業

(医)博愛会 介護老人保健施設 博愛苑、(社福)薫会 特別養護老人ホーム北九州シティホーム、(社福)北九州あゆみの会、(社福)北九州福祉会 介護老人保健施設 サングレース、(社福)宏隆会 特別養護老人ホーム 舞ヶ丘明静苑、(株)ウィズ 在宅介護支援住宅タイヘイの里、(株)健生 住宅型有料老人ホーム 悠笑庵、(社福)和泉会 認定こども園ボランのひろば、(学)井上学園 西門司幼稚園、(株)晴天 放課後等デイサービス 星の子



進学・編入学など

(学)東筑紫学園 九州栄養福祉大学
食物栄養学部 食物栄養学科 …………… 7名
(学)福原学園 九州女子大学
家政学部 栄養学科 …………… 3名
(学)東亜大学 学園 東亜大学
医療学部 健康栄養学科 …………… 2名
(学)東筑紫学園 東筑紫短期大学
専攻科(介護福祉専攻) …………… 16名

支援スケジュール

4月	●就職オリエンテーション/2年(就職支援内容・スタッフの紹介)
5月	●就職ガイダンス/2年(就職活動の進め方、自己分析方法・履歴書の作成について 等) ●個人面談/2年(希望する業種の確認、求人票の提示、応募書類の作成、面接練習 等)
6月	●卒業生の講演/2年(在学生に向けたアドバイス・社会人として働くうえで気を付けるべきこと 等) ●就職ガイダンス/2年(幼児教育・幼児保育関係団体と連携して開催) ●外来講師の講演/2年(幼児教育・幼児保育関係管理職者からの講演 等)
7月	●就職ガイダンス/1年(就職支援内容・スタッフの紹介、過年度の求人数・就職状況について 等) ●外来講師の講演/2年(就職活動の進め方、自己分析方法・履歴書の作成について 等)
9月	●就職ガイダンス/2年(履歴書の作成・面接対策について 等) ●個人面談/2年(応募書類の作成・面接練習 等)
12月	●卒業生の講演/2年(在学生に向けたアドバイス・社会人として働くうえで気を付けるべきこと 等) ●外来講師の講演/2年(食物栄養学科在学生へ向けてのマナー講座)
1月	●就職ガイダンス/1年(就職活動を終えた2年生から就職活動のスケジュールや対策方法、在学生に向けたアドバイス・メッセージなど) ●業界・業種研究会 等/1年

※略称表記について

(学)＝学校法人、(宗)＝宗教法人、(社福)＝社会福祉法人、(特社)＝特定社会福祉法人、(医)＝医療法人、(医社)＝医療法人社団、(社医)＝社会医療法人、(特医)＝特定医療法人、(公財)＝公益財団法人、(財法)＝財団法人、(一財)＝一般財団法人、(一社)＝一般社団法人、(株)＝株式会社、(有)＝有限会社

学 生 活 動 紹 介

学科における社会貢献活動について

食物栄養学科では、昨年度開講された食環境地域連携演習をはじめ、教職課程やゼミ活動等における様々な学外活動を通して北九州市や地域の生産者、企業等と連携して社会貢献活動を実施しております。主な取組についてご紹介いたします。



●「トマトのおんがえしカレー」の取組 (福岡デザインアワード金賞受賞)

北九州市の生産者の毎年75トンの廃棄用トマトを本学が「トマトのおんがえしカレー」としてレシピ化し、企業等と連携してレトルト化に成功し、販売に至っています。売上は、子ども食堂へ支援しています。

●北九州市の給食応援団として参画

「トマトのおんがえしカレー」が北九州市の学校給食に採用され、北九州市内の小・中学校で提供されました。子どもたちから「おいしかった」の声をたくさんいただきました。



●北九州市旦過青空市場グランドオープン記念「手巻き寿司コンテスト」に参加!

学生が旦過市場の「ぬか炊き」などの名物食材を活用して試作を重ね、コンテストに参加しました。旦過市場の活性化に貢献することができました。

●市場みらい塾「子ども料理教室」の取組(子どもたちの夏休み期間中に開催)

毎年、北九州市の産業経済局と連携し、食物栄養学科の教職課程の学生が地域の小・中学生を対象にプレゼンによる食育教室と学生考案のレシピで料理づくりに取り組んでいます。

他にも「トマトサブレ」(グッドデザイン賞を受賞)の開発や「サンタウォーク」の開催、北九州市の竹書を食で解決する「竹炭かりんとう」の商品開発については、現在、地元企業とタイアップして取り組んでいるところです。

入学前セミナーを通じた学生スタッフの成長

リハビリテーション学部では、入学予定の合格者を対象とした入学前セミナー(以下セミナー)を令和2年から行っています。セミナーの開催目的は、大学での学びの動機付けと入学前の不安軽減です。教職員目標のセミナーではなく、実際に入学した学生たちに**自分が必要だったと感じる内容にすること**に重きを置き例年1年生のスタッフで準備を進めています。

本セミナーを準備、運営していく中でスタッフが得るものは非常に多く、回を重ねるごとに(1月、3月に2回開催)参加者への関わり方や伝え方、プログラム内容も改善されています。この成長実感を目視化するために、スタッフには初回にこのセミナー運営を通して達成したいことなどを目標設定してもらい、終了後には【good, bad, next】のフレームワークでフィードバックを行います。まさに、本学でいう行事教育であり学生スタッフの成長は大きなものがあり頼もしく感じます。実は、最初の入学者向けの表向き目的だけでなく、準備するスタッフ側の裏の目的もあり、「**セミナーを通してスタッフ自身が成長すること**」をスタッフには初回に伝えていきます。

様々な内容を検討準備する中で、チームワークやリーダーシップ、プレゼン力(伝える力)等を実践の中で気づき、学び、そしてまた実践するというサイクルが回っています。このスタッフを経験した学生が、その後学友会執行部で活躍したり、別の行事でリーダーシップを発揮する姿もみられ、学生の体験価値の大きさを実感しています。

これからも**入学予定者の大学への円滑な接続と、スタッフの成長**という二本柱を大切に今後も更に高まっていく入学前教育の需要にスタッフと共に応えていきたいと思っています。(学生部 室井)



ワールドカフェの実践
～進行役もすべて自分たちで～



当日のアイスブレイクの様子
～実は学生スタッフの方が緊張しています(笑)～

【学生スタッフコメント】

- ・1回目の経験を2回目に活かした!
- ・初めて会うメンバーと一緒に準備して、色んな考え方や学びがあった!
- ・入学してくる方に伝えることで自分の中でも色々と整理できた!
- ・楽しかった～～～～!! 他



学生スタッフ全員
～先輩の力も借りて無事成功!～

学 生 活 動 紹 介

地域と共に「こいのぼり交流会 ― 春の探索 ―」

日時：令和7年5月1日（木）

場所：到津こいのぼりまつり 板櫃川にて

保育学科、こども教育学部の学生が、地域の小学校、幼稚園、保育所、地元自治連合会、まちづくり協議会、社会福祉協議会の皆さんと一緒にこいのぼり交流会を行いました。

保育学科生は「表現」、こども教育学部生は「領域のねらい」の授業（いずれも木本節子教授が担当）として行われた本活動は、SDGs 時代の活動実践のひとつでもあります。こいのぼりは、学生と地域のこどもたちと協同で不要になった素材などを利用して手作りました。《災害にあわれた皆様の復興》と《こどもの成長》を祈願し、掲げられるこいのぼりをみんなで見守り「童謡 こいのぼり」を合唱しました。

学生は会場までの下見を行い、安全面への配慮やトイレ・災害時の避難場所などの確認も行いました。

また、打合せ会や反省会、一週間前には事前活動「はじめましての会」で幼稚園や保育所の園児と交流するなど、5月1日の交流会に向けて、見通しを持ちながら総合的活動の支援を学ぶ大変貴重な体験となりました。



「学校給食応援団 給食交流会」

— 食物栄養学科の学生が考案した冬至献立「冬至の七福シチュー」を学校給食で提供 —

日時：令和6年12月4日（水）

場所：北九州市立中原小学校にて

この活動は、北九州市教育委員会と4大学との連携事業である「学校給食応援団」として参加したものです。献立作成の想い等について児童に指導することにより、効果的に食に関する指導につなげるとともに「生きた教材」としての学校給食の教育的価値を高めることを目的としています。

栄養教諭免許状取得を目指す学生が、授業の合間や朝晩の時間を使ってプレゼン作成や練習を積み重ね、当日は賑やかな雰囲気の中で楽しく指導することができました。

給食の時間も児童と一緒に食事をして楽しく交流をしました。児童からは「みその香りがふわっとしておいしい!」「普通のシチューよりおいしい!」「体が温まりそう!」など、多くの「おいしい!」の言葉が聞かれました。



韓国

第16回国際理解 韓国研修日程表

- 8/26(月)** 福岡空港発 → 金海国際空港着
市内観光(南浦洞、釜山タワー、国際市場、チャガルチ市場、ロッテデパート)
- 8/27(火)** 甘川文化村にてチマチョゴリ体験・自由散策、三光寺見学、釜山最大規模の釜田市場視察
- 8/28(水)** K-POPダンス体験
金海国際空港発 → 福岡空港着

釜山タワー



チマチョゴリ体験

三光寺



K-POPダンス



台湾

第16回国際理解 台湾研修日程表

- 3/17(月)** 福岡空港発 → 台湾桃園国際空港着
市内観光(龍山寺、台北青草街、士林夜市)
- 3/18(火)** 桃園長庚医院、長庚大学見学、台塑企業文物館見学、観光(九份、西門紅樓、寧夏夜市)
- 3/19(水)** 語学学校見学(中国語を学ぶ)新光三越、迪化街(漢方薬・乾物問屋街)見学
- 3/20(木)** 台北市立図書館見学
台湾桃園国際空港発 → 福岡空港着



長庚大学学食



長庚大学



九份



西門町



夜市

4泊7日アメリカ研修



いざ、アメリカ合衆国入国

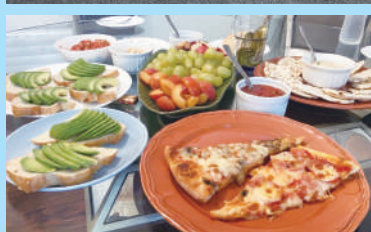


持ち寄りランチ後、庭にて

9/3(火) 福岡空港発 → ロスアンゼルス空港着

9/4(水) Carlsbad, California を訪問

9/5(木) Target や Trader Joe's を訪問



9/6(金)

地元のスーパーで
から揚げとタコ焼
きの材料購入。

9/7(土)

サクラメント氏宅
で調理。地元関係
者の持ち寄り料理
と合わせて送別会
実施。

深夜、ロスアンゼルス
発 → ソウル経由

9/8(日) 機内

9/9(月) → 福岡空港着

4泊5日セブ研修

3/21(金) 福岡空港発 → ソウル経由

3/22(土) → セブマクタン空港着
ビデオチャットでLCIC大学から九栄大に接続

3/23(日) ボホール島で世界最小の猿ターシャと遭遇

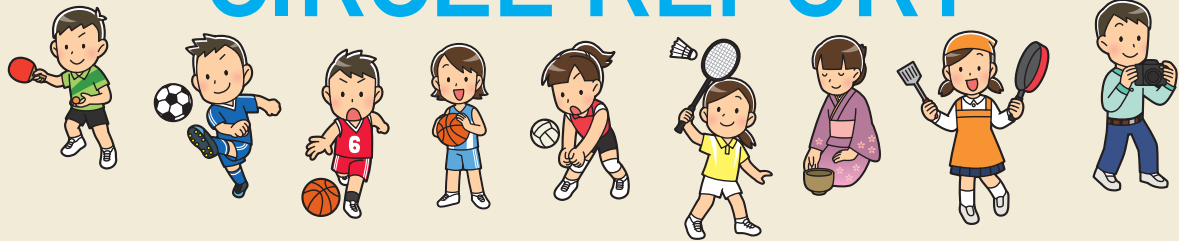
3/24(月) LCIC大学カフェテリアで、現地学生と交流

3/25(火) 早朝、セブマクタン空港発 → ソウル経由

同日 → 福岡空港着



CIRCLE REPORT



【大学】

クラブサークル名称	活動日付	活 動
学友会執行部 (大学) 北区キャンパス	9月22日～ 23日	九州地区大学体育協議会 体育系学生リーダーズ・トレーニング
Smart Diet Club	5月13日	調理スキルアップ講座～洋菓子～ ブラウニー、フロランタン、フィナンシェ
	5月23日	調理スキルアップ講座 北九州放課後児童クラブの夏休み弁当の試作
	5月31日	井筒屋サステナブルシェ トマトのおながえしシリーズ紹介・販売
	6月3日	調理スキルアップ講座 パスタと夏野菜あえ物作り
	6月10日	調理スキルアップ講座 夏バテ防止!夏野菜献立
	6月24日	調理スキルアップ講座 規格外トマトを活用しトマトソース作り
	6月26日	(試作)タニタごはんコンテスト 郷土料理を使用し現代風にアレンジ
	7月8日	調理スキルアップ講座 夏野菜をたっぷり使ったお弁当
	10月12日	調理スキルアップ講座 ピザ、ロールキャベツ、もつ煮 (各地の特色を学ぶ)
	10月27日	北九州空港 空港祭り トマトのおながえしシリーズ紹介・販売
	11月4日	JCOMアクション支援プロジェクト 竹炭の商品化の企画で全国1位に選出
	11月9日	赤ちゃんのための食育講座 (離乳食アドバイス)
	11月30日	調理スキルアップ講座 スポーツ選手のたんぱく質補給食
	12月9日	調理スキルアップ講座 3種類のピザとフォカチオを調理
	12月14日	サンタウオーク 到津動物園でイベントを行い1085人の参加!
	12月22日	テーブルマナー講座 学外でテーブルマナーを学ぶ
	1月17日	スキルアップ講座 ローストビーフ、アヒージョ作り
子ども食堂 サークル	6月24日	子ども食堂
	10月21日	子どもたちの遊び相手や見守り、配膳の手伝い
	12月16日	子ども食堂 感謝状セレモニーに伴う調理補助など
	12月23日	子ども食堂 子どもたちの遊び相手や見守り、配膳の手伝い
フットサル部	4月22日	練習会
美術部	4月1日	展覧会見学 (JR九州ホール「名探偵コナン展」)
	6月9日	展覧会見学「シャドーハウス展」
	6月16日	展覧会見学「福岡市博物館常設展」

クラブサークル名称	活動日付	活 動
アウトドアサークル	11月16日～ 17日	薪を使った野外調理体験
軟式野球部 (南区)	4月24日	メディカルリーグ (対・田原整形外科医院)
	5月17日	メディカルリーグ (対・長村医院)
FCQ.A. サッカー部 (南区)	11月16日	北九州・下関地区大学体育大会 サッカー競技
バドミントン部 (南区)	5月25日	北九州市夏季ABCD級バドミントン大会 D級ダブルス ベスト16位
		北九州市夏季ABCD級バドミントン大会 C級ダブルス 優勝
	9月21日	北九州市秋季ABCD級バドミントン大会 B・D級ダブルス
豊作 (南区)	5月11日	萩病院春祭り (ボランティア)
	7月14日	本から学ぶ 認知症の人と暮らす工夫 (ボランティア) 小倉南図書館
卓球同好会 (南区)	7月30日	令和6年度北九州市会長杯卓球大会
	10月20日	北九州市民スポーツ卓球競技会
	12月14日	北九州・下関地区大学体育大会 3位
45-m. (南区)	4月6日	野球クラブチーム (刈田スラッガーズ) 対象 フィジカルチェック・ストレッチ指導
	8月10日	野球クラブチーム (刈田スラッガーズ) 対象 データ測定
	8月24日	PTagora! ピッチイベントでの発表
	9月19日	45m研修会:小学生野球選手における傷害予防
	9月29日	野球クラブチーム (刈田スラッガーズ) 対象 ストレッチ指導

【短大】

クラブサークル名称	活動日付	活 動
学友会執行部 (短大)	9月22日～ 23日	九州地区大学体育協議会 体育系学生リーダーズ・トレーニング
卓球部	5月16日～ 19日	第75回全九州学生春季卓球選手権大会 団体戦: 1部リーグ6位
	8月26日～ 29日	第75回全九州学生秋季卓球選手権大会 団体戦: 2部リーグ2位
	10月27日	第74回九州地区大学体育大会 団体戦 3位
	11月8日～ 9日	第41回全九州学生新人卓球選手権大会 シングルス: 1勝1敗
ボランティア部 (短大)	8月31日	尾倉幼稚園夏まつり
	9月5日	中井子育て相談 (乳幼児の身体測定及び育児相談)
	9月28日	東筑紫短期大学附属幼稚園後援会バザー
	11月9日	そよ風まつり (文化祭) 到津市民センター
	12月15日	あおば幼稚園おゆうぎ会
	1月11日	子ども講座 集団遊び 泉台市民センター

※活動報告書提出分を記載

九州栄養福祉大学 第21号

- セラピスト養成大学における基幹教育の授業設計のあり方について 石橋 敏郎
- 肩腱板断裂術後における肩外転装具装着下の安全な運動方法の探索
～ 筋骨格シミュレーションモデルを用いたアプローチ ～ 長野 友彦・河上 淳一・時任 真幸・大峯 三郎
- 理学療法学科1年生および3年生のライフスキルの特徴 鈴木 雄太
- 障害のある子どものためのおもちゃ操作に対する実践的アイデアとサポート 佐野 幹剛
- 乳児の粗大運動発達過程をベースにした発達支援のポイント 佐野 幹剛
- 生活行為向上マネジメントに基づく臨床実習の学修効果
～ MAXQDAを用いた質的分析 ～ 青山 克実・四元 孝道
- AI時代における福祉のまちづくりについての一考察 ～ 環境に優しい未来のトイレとは ～ 竹並 正宏
- 花のシンボリズムと個性化の過程に関する一考察 — 藤井風の『花』について — 松本 明夫
- 総説 オセルタミビル(タミフル)によるマウスの異常行動に関するアデノシン受容体
および脳内プロスタグランジンの相互関係
— タミフルの代謝物(OCB)とPGE₂の相互作用を中心に —
..... 内山 秀盛・戸田 晶久・渡辺 繁紀・大光 正男・古賀 貴之・副田二三夫
- 英語でコミュニケーション — 英語の音作りからリスニングスキル向上へ② — 梅崎 義雄

東筑紫短期大学 第55号

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する算数科授業 前川 公一
- 幼小接続についてアクティブな学びの授業について ～ 器械運動(跳び箱)を使った運動指導 ～ 原本 賢一
- 幼児における短期的な投動作運動プログラムの比較
— 保育者が実践できる運動プログラムの開発を目指して — 大橋 祐介・金子 勝司・佐近 慎平
- 保育職の研究(その16) 本学の特色ある教育課程を求めて
— 地域と共に……SDGs「こいのぼり交流会」実践記録の考察 — 木本 節子
- 保育学科生の教育実習(学外)に対する意識について 小島久須美
- 地域とつながる子育て支援
— 認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園 地域子育て支援事業からの考察 — 本田恵美子
- 小学校における子どもの遊びに着目した題材開発と実践 都留 守
- 教育職の研究(その3) 幼小接続におけるアーティキュレーションに関する一考察
— 保育内容「環境」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関係性に焦点をあてて — 武田 祐子
- 底の尖った縄文土器とアニミズム文化の関係性 和辻 智郎
- 児童の自発的、自治的活動の促進を阻害する特別活動研究の課題
学級会の研究構想や指導案の分析から 脇田 哲郎
- 医療的ケアを必要とする児童の支援に関する一考察
— 保育士と介護福祉士の両資格を有する専門職の意義 — 田中 文佳
- 協同学習を基にした「認知症の理解」のルーブリック作成
～ 介護福祉士養成1年課程の課題に着眼して ～ 伊藤 元子

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学のキャンパスで学ぶ 北九州市立年長者研修大学校周望学園シニアカレッジ



開講スケジュール

1 限目 (13:00 ~ 14:30)

2 限目 (14:40 ~ 16:10)

1	9月4日 (水)	1 限 開講式 オリエンテーション	2 限 レクリエーションで 心と身体を動かそう! 東筑紫短期大学 保育学科 助教 大橋 祐介
2	9月11日 (水)	乳児院で生活する子どもと その家族への支援 東筑紫短期大学 保育学科 講師 井田 智美	酵母はパン生地の何を使って発酵しているのか 東筑紫短期大学 食物栄養学科 教授 和辻 智郎
3	9月18日 (水)	一緒に作って食べて学ぼう! ~身体に優しいスイーツ~ 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科 准教授 中野 眞弓	
4	9月25日 (水) 南区キャンパス	健康づくりのための身体活動 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 助教 松崎 英章	学生と楽しく取り組む健康づくり 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 学科長 教授 廣滋 恵一
5	10月2日 (水) 南区キャンパス	【復活】よさこい! シニアライフ!! ~「脳トレ」も一緒に~ 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 准教授 深町 晃次・講師 久保 拓哉	
6	10月9日 (水)	食べるための進化と多様性 ~顎の獲得、歯の起原と進化、肉食・草食・雑食・肉食の仕組み~ 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科 教授 田畑 純	口腔の健康と栄養 九州栄養福祉大学 食物栄養学部 食物栄養学科 講師 青佐 泰志
7	10月16日 (水)	認知症の種類・症状とその対応 ~自宅でする簡単な運動で認知症を予防しましょう~ 東筑紫短期大学 専攻科 講師 伊藤 元子	遊びを通して一緒に楽しく学びましょう! ~主体的でより深い学び~ 東筑紫短期大学 保育学科 准教授 原本 賢一
8	10月23日 (水)	元気に長生きするために 14 ~歌と踊りと古典浪曲で楽しく学ぶ「長寿節」~ 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長 室井 廣一	閉講式

受講者の声

- ・昨年とは全く違う内容でとても楽しかった
- ・ユニークな先生ばかりで、とても楽しく受講できた
- ・学生さん達との料理実習が楽しかった
- ・健康づくりのための身体活動全般についてとても勉強になった
- ・学生さん達とソーラン節を踊れて楽しかった
- ・学生の時以来の実験でとても楽しかった
- ・とても勉強になり今後の生活に取り入れたい
- ・来年も元気で参加したい



日本リハビリテーション発祥地記念館 九州リハビリテーション大学校記念館

見学のご案内

2017(平成29)年4月22日に開館した両記念館には、これまで、医療・福祉・行政関係者、卒業生、地域住民の皆様など、たくさんのご来館をいただきました。また、地域の市民センターと共同し、健康づくり教室の開催も5年目を迎えました。ぜひ、お誘いあわせのうえ見学にお越しください。



〈令和6年記念館来館者〉

来館日	来館者名	人数	来館日	来館者名	人数	来館日	来館者名	人数
1月10日	地域健康づくり教室の開催③	15	7月12日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生(27期生)	2	10月16日	専門学校九州リハビリテーション大学校卒業生3期生	1
1月25日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生	2	7月16日	高圧治療タンク技術者	3	10月19日	地域健康づくり教室の開催②	20
2月16日	北九州市地域リハビリテーション推進課リハ専門職 北九州市立大学大学院マネジメント研究科院生	14	7月23日	北九州市シニアネットワーク 穴生学舎	37	10月22日	九州医療スポーツ専門学校 教員	1
2月17日	地域健康づくり教室の開催④	13	7月28日	福岡県作業療法協会MTDLP基礎研修参加者	25	10月23日	福祉用具ブラザ職員	1
2月22日	北九州市健康推進課職員、他	14	7月29日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生(19期生)	1	10月26日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生28期生	8
2月26日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生(8期生)	1	8月4日	九州栄養福祉大学卒業生(8期生) 放課後デイサービスことりのいえあさかわ	16	10月28日	作業療法学科認証評価委員	2
2月28日	日本理学療法士協会理事	1	8月24日	臼杵医師会立コスモス病院 旧九州リハ大卒業生26期生	1	10月31日	大原病院 九州栄養福祉大学卒業生8期生	1
3月9日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生ご夫婦	2	8月27日	九州栄養福祉大学卒業生(5期生)	2	11月2日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生18期生	4
3月11日	九州工業大学 産学イノベーションセンター	1	9月1日	東筑紫短期大学筑紫会研修会	59	11月7日	薬園台リハビリテーション病院	1
3月16日	地域健康づくり教室の開催⑤	15	9月2日	一般市民	1	11月16日	地域健康づくり教室の開催③	18
3月23日	オープンキャンパス参加者	55	9月6日	馬場記念病院 九州栄養福祉大学卒業生(10期生) TMG 専門学校九州リハビリテーション大学校卒業生3期生	4	11月19日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生 (29・36期生)	2
3月29日	(株)RAID 社員	1	9月11日	社会福祉法人 まどか 事務局長・理事	2	11月26日	周望学舎 健康づくりサポーターコース受講者	29
4月1日	北九州市福祉事業団 職員	3	9月20日	福岡長尾病院 専門学校九州リハ大卒業生第1・3期	2	11月28日	穴生学舎 健康管理コース受講者	36
4月13日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生(16期生)	19	9月26日	薬園台リハビリテーション病院 周望学舎 健康管理コース受講者 株式会社シーユーシー	34	11月29日	周望学舎 心と身体の健康コース受講者	31
4月17日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生(9期生)	2	9月28日	博愛病院 九州リハビリテーション大学校卒業生24期生	1	12月2日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生9期生	11
5月18日	第1回オープンキャンパス参加者	44	10月5日	地域健康づくり教室の開催①	13	12月13日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生20期生 名古屋大学医学部健康学科教授 医歯薬出版株式会社	3
5月23日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生(31期生)	1	10月10日	一般市民	1	12月14日	地域健康づくり教室の開催④	18
6月4日	新小文字病院リハビリテーションスタッフ・他	28	10月13日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生20期生	1	12月24日	ふらて会ケン・インターナショナル(株) サクシード	2
6月11日	下関リハビリテーション病院リハスタッフ・他	24				12月26日	旧九州リハビリテーション大学校卒業生3期生	1
6月13日	新小文字病院リハビリテーションスタッフ・他	28						
6月24日	北九州リハビリテーション学院学生	19						
6月26日	号外 NET 北九州市小倉南区 記者	1						
7月3日	麻生リハビリテーション大学校 作業療法学科学生	38						

北九州市民カレッジ

北九州市事業『北九州市民カレッジ』

市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進および『循環型生涯学習社会』を担う人材の育成をはかります。

様々な講座が設けられる中、本学では毎年【大学連携リレー講座】に講師を派遣しています。

●令和6年度後期

【大学連携リレー講座：大学の魅力！地域に発信！】
全6回講座の内、第1回目を九州栄養福祉大学
佐野幹剛教授が講師として担当しました。

講 師：九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部作業療法学科 佐野幹剛 教授・農園長

テーマ：『九州栄養福祉大学の持続可能な循環型農園実習の取り組み』

内 容：(市民カレッジ講座案内より抜粋)

「九州栄養福祉大学リハビリテーション学部で開講されている「食と農園」を紹介しながら、新入生が1年を通して畑作りから収穫、収穫後の活用まで循環型農園実習を体験するとともに、本学の建学の精神のもと実施している農園での行事教育について触れながら、栄養とは何か、リハビリとは何かを検討する。」





オープンキャンパス 2025

参加申し込みはホームページから



九州栄養福祉大学

食物栄養学部・こども教育学部

小倉北区キャンパス

7/19(土) 10:00～

8/2(土) 10:00～

8/23(土) 10:00～

リハビリテーション学部

小倉南区キャンパス



無料 送迎バス運行(予定)

7/19(土) 10:00～

7/26(土) 10:00～

8/3(日) 10:00～

8/24(日) 10:00～

東筑紫短期大学

保育学科・食物栄養学科・専攻科

小倉北区キャンパス

7/19(土) 10:00～

8/2(土) 10:00～

8/23(土) 10:00～

H I R A K U

拓く

発行

九州栄養福祉大学 URL <https://www.knwu.ac.jp/>
東筑紫短期大学 URL <https://www.hcc.ac.jp/>

発行日 初版 第1刷 令和7年6月19日
編集 企画情報室



JUNIOR COLLEGE
ACCREDITED
2022



UNIVERSITY
ACCREDITED
2023